

ル 4
5325
3



送

却

名

所

圖

全

二下

124
5325

遺拾
都名所圖會卷之二目錄

昆沙門堂

鏡山

光秀塚

將軍塚

堤河

鶴森

親寫屋鋪

娘ヶ池

聖護院

栗田社舊跡

吉備公像

龍青龍尾

袖鏡

安祥寺

小振治水

青蓮院

後殿过子

風羅坊舊趾

堀出觀音

秋葉祠

熊野権現

明星水

袖原

松坂

花頂山旧趾

耕雲菴旧跡

法勝寺舊蹟

滿願寺

東天王

御所稻荷

新羅社

善正寺

真如堂稻荷

明王寺

栗田神明宮

比丘尼坂

在原行平亭

在堂古跡

預成寺

鳥居大路

お辰坂

月輪

迎稱寺

了了
750
通番

芝葉師

神樂園

春日社

吉田泉殿

法性寺

青龍寺

二軀石佛

砂川

龍王宮

千石岩

十禪師社

愛宕名墓

中將實方家

極樂寺

智福院

神樂園神

業平朝臣廟

正栄寺

佛々

陽成院陵

頼政山莊

樓内瀧

如意城跡

中尾山

後愛宕名墓

北白川天満宮

東北院

西天王

兼俱祠

一本松一本松

長徳院

地藏堂

小督局家

靈鑑寺

池地藏

大豊社

白河

貞信公亭

照高院

元真如堂

本丸祠

新長谷寺

身隠森

武藏寺

後一條院陵

三本木

如意寺

葵谷

辨慶金鋪

白河陵

公任卿山莊

心性寺

丸生山

金福寺

圓光寺

狸谷不動

月彌寺跡

権中納言敦忠山莊

守禪庵

赤宮

小野毛人墓

觀音石

矢背天満宮

波那志里社

惟喬親王舊蹟

白川石佛

芭蕉庵

承山觀音

白鳥嶽

玄母坂

林丘寺

大納言平名彌留蹟

寶幢寺

所産山

神子淵

紀貫之家

大原上野

小野神社

頑仙祠

隆松

一系寺天満宮

花之谷

不動堂

道入寺

山端

蓮華寺

甲淵

住吉石

所産社

十禪寺

敏行朝臣家

舞樂寺天王

比良木社

曼珠院

鷺森

叡山名取谷

禪養庵

理昂院

高野社

千束碓

矢瀬川

炭竈里

攝取院

勝子社

西方院
萱穂橋
羅漢橋
鉄盤石
静原峠

真光寺
來迎橋
法然上人腰掛石
寂光院 補遺

賣山公好墓
後鳥羽院陵
姫祠 大は社
火壺雨壺風壺

小野氷室
獅子石
良運法師心荘
龍美越

遍昭墳

慶寺の南二町をくり民家の西田向ふあり
塚のめぐり小樹樹根あり

其

身一人とてこころゆれ
林乃

斑竹

東山寺

慶寺の奥あり 禪宗本尊釋迦佛坐像二尺五寸 圓基大圓宝
鑑國師拾遺抄云 東山寺華嚴窟と號す

神無森

慶記云 會坂や一村松の本あり 鶴坂の東今平地ありて坂あり
神無森の南半町計街道の右あり 鶴坂の東今平地ありて坂あり

塔

土人の口稱あり 實記詳す 後

同

世中いそいでておれりて
白鳥の

四宮河原

神は村のむらあり 今河原あり
仁明帝第四宮の回踏あり 人名あり

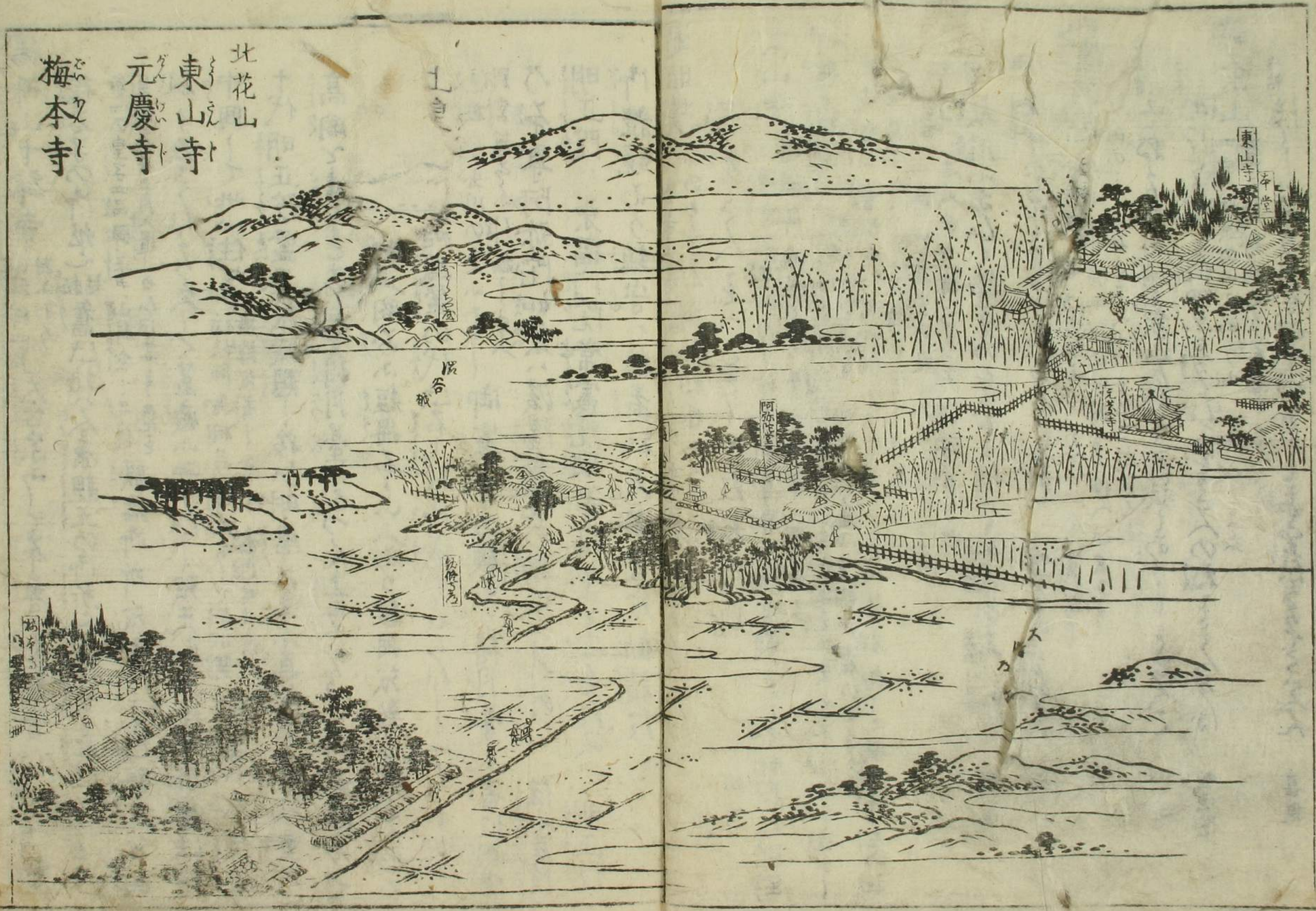
のりてのまのふらふら
小町
順徳院

諸葉山

諸葉山 諸葉社あり 柳ふとよぶ
六帖 諸葉社あり 柳ふとよぶ

喜撰

北花山
東山寺
元慶寺
梅本寺



揚柳山十禪寺

山科郷四宮村あり

天台宗にて本尊ハ聖観音

延徳長二聖

徳太子の清化

封舊地

仁明天皇の皇子四品彈正尹山科宮に於て

貞觀元年五月入道し

仁明天皇の皇子四品彈正尹山科宮に於て

祖々々それより久しく荒廢

中興して此小住せり

十代明正院靈友

高閣と遠らま

閣お小短冊石といふあり

御宸筆の額あり

乃本尊阿弥陀如来

明正院 東福門院常憲院殿等

神靈と安んじ

淨體鏡あり鎮守ハ稻荷社

天満宮

四宮川

十禪寺橋

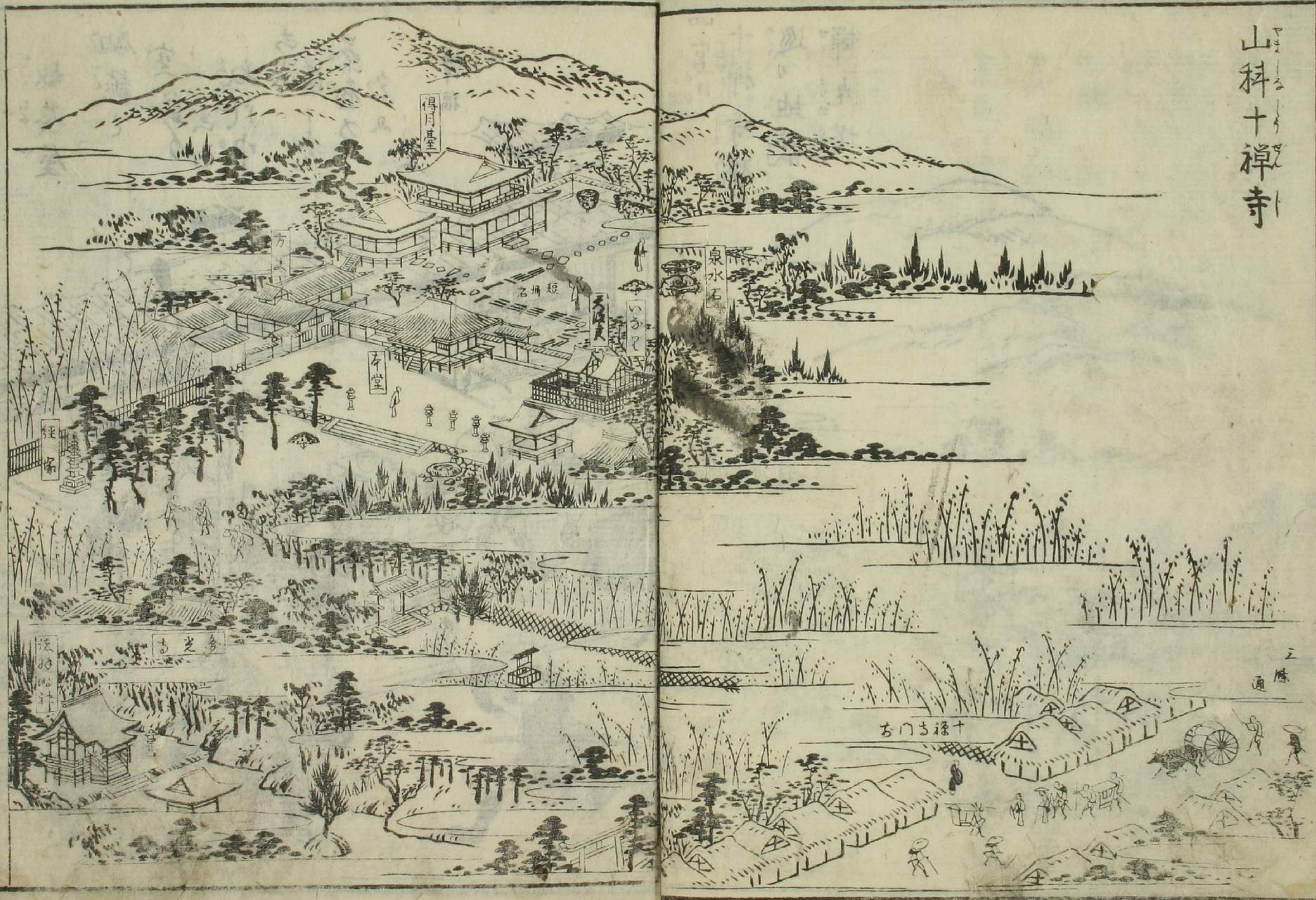
巡リ地藏

蟬丸塔



山科十禪寺

山科十禅寺





人康親王舊蹟

伴房物語云山階のセヤの心をありきたるその心林れ宮小塔おとくあそしらせふとして
おひろくゆるゆにせよふまふて年終よとふいつくはゆりまらふてあふま
おゆのまうけせよあふ入るふかの大おとくたをり終りまらふてあふま
わうるあやみええええええええええええええええええええええええええええええ
たゆりろねるまきりたたかこゆれの後まきりいっばある人のこゆり
乃おのえそみええええええええええええええええええええええええええええええ
てこいおんこゆりしてゆりふつひいこくもるくしてゆりてさぬけ石
師しゆりいふるいまらうれりあき版うふなるばさるる版へいこそ人
形よはせり大のむまれりあき版うふなるばさるる版へいこそ人
乃こふまらふ版はけを多てまらりたる

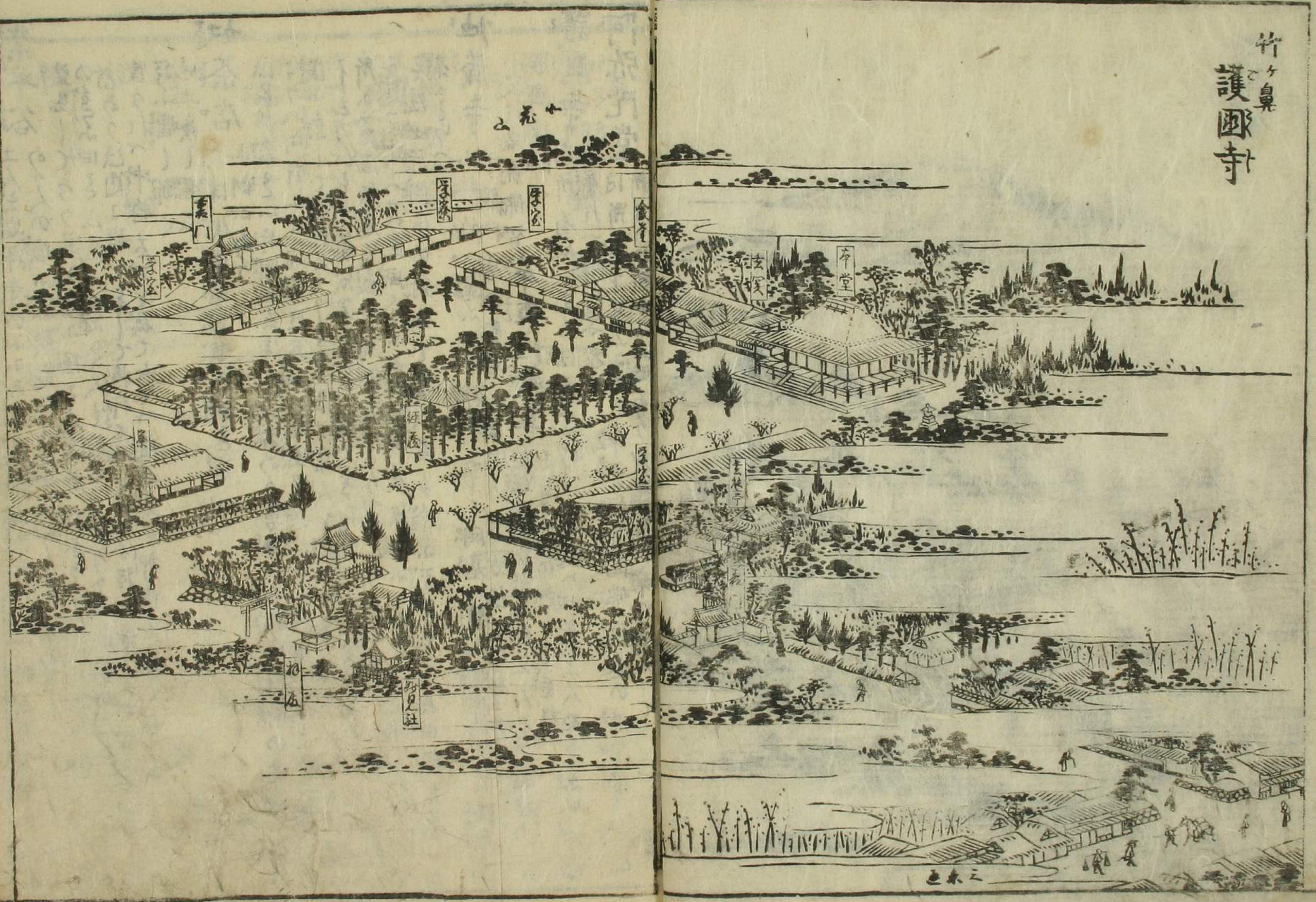
あつたあせりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと

とらんよめりあせりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと
旧記云は石の清和帝の片宇貞観五年仲春紀例千里侯光輝おり人
伴房物語云は石の清和帝の片宇貞観五年仲春紀例千里侯光輝おり人
後醍醐帝愛しゆりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと
切おつたあせりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと
年の冬勅勅と得て安藝國小豆郡に遷し具時氏信和友の宿をゆ人の御まされ
とて石版城中よりとてゆりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと
日國福王寺小豆郡に遷し具時氏信和友の宿をゆ人の御まされ
あつたあせりつるをえぬ心とをえんりのあけまこと
玉寺小豆郡に遷し具時氏信和友の宿をゆ人の御まされ

地藏寺



竹ノ鼻
護國寺



業平谷

おん安祥寺の山あり 今昔物語云右近中将在原業平と云人
あつ人の娘小容顔艶くして世ふ知れしと云ありかといふと
盗まひてくると具と忽小隠と人た所乃ふりたりし思ひ懐て
倉ありは内は娘と具して将行て神より多々其家の内ふ大なる
惶々し中將をたかて機て女とい後乃が小押遣て起くちりたり
此疾も漸く

茶店

大津街道藩谷越乃別と云
は家の家先小片岡田を湯といふ者あり勇猛の奴射術の達人と云れ
より八町計の小片岡田に具頭は諸國乃兵詰して街道も性素の人掃之具
虚小計して盗賊とてく小益と諸人と掃之街に世を掃之具
了まのいどが前夜盗し心乃盗人考反討し人掃之街に世を掃之具
を送るに其遺風今ありて武藝店ふりて一戸固乃家然相續
と後世に射術と云ふ者今至ると其由縁を慕ふ

地藏寺

山科竹鼻の鼻あり 禪宗ありて開基は鐘山院禪師中興は播州四
小寂に照號佛智 本尊地藏尊 弘法大師の化之係三人右の脇櫃ふり足
腰齊禪師 所南柳ふあり法教宗ありて開基は日勇上人なり系所あり

護國寺

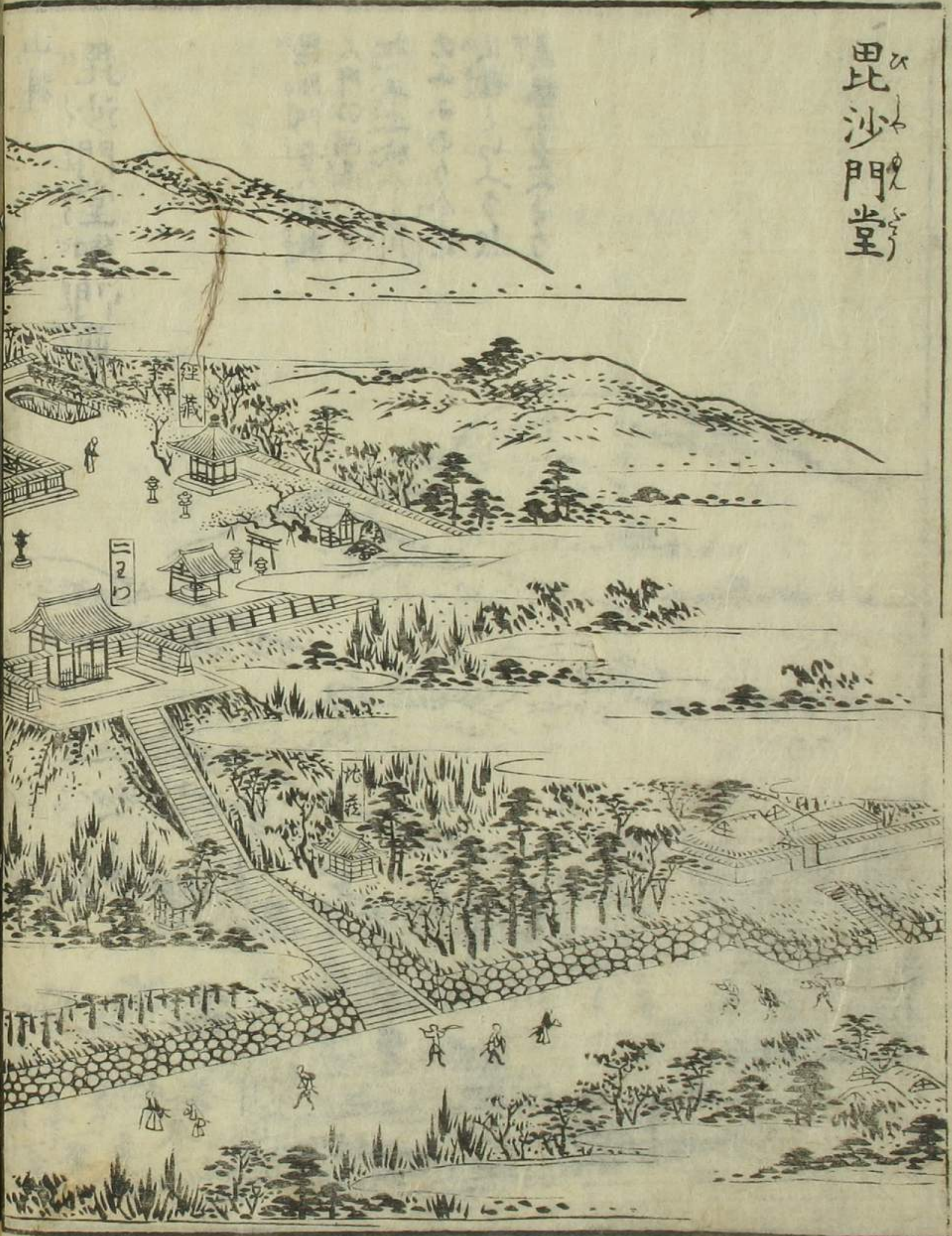
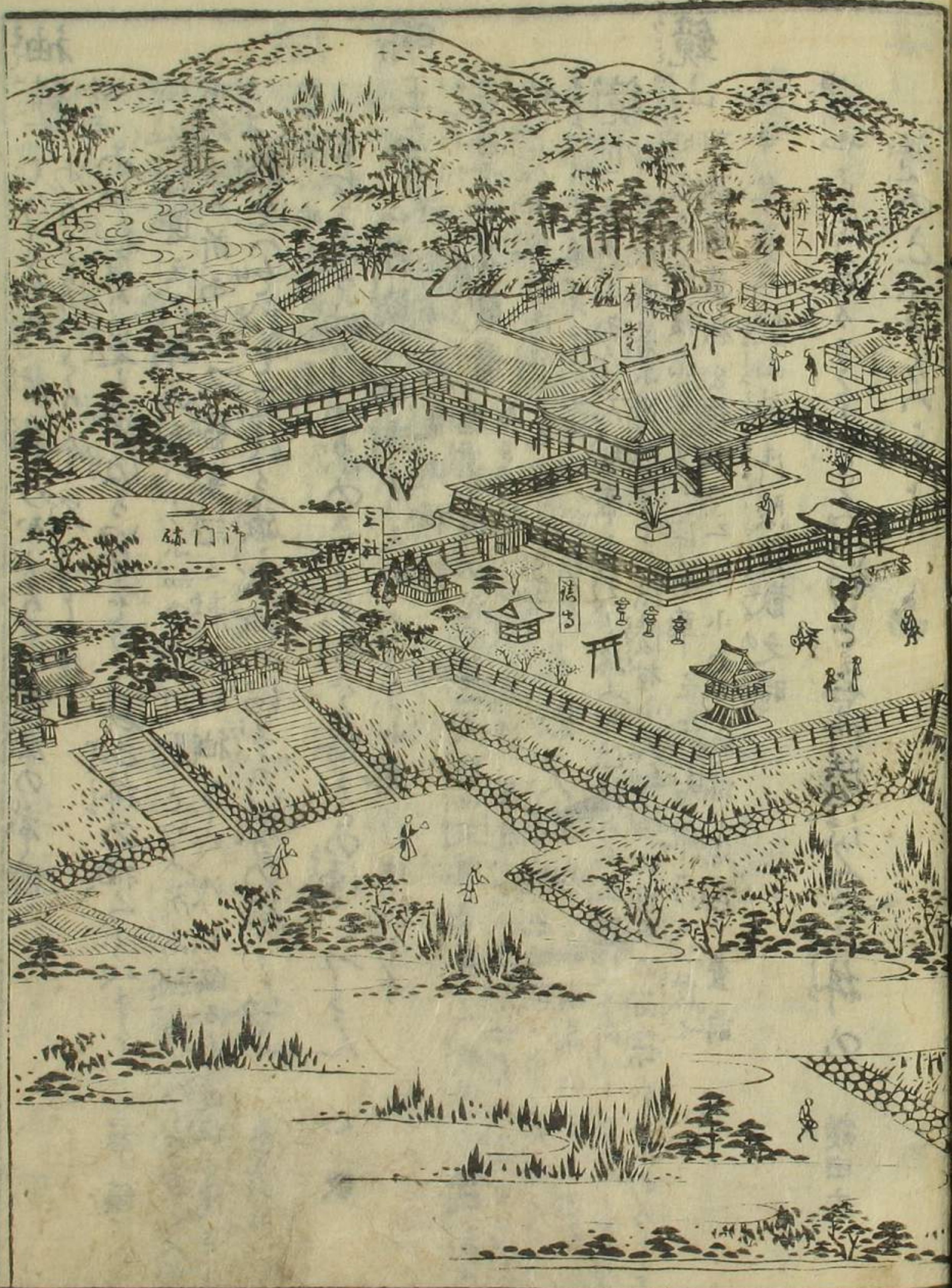
日所一城の學校あり 本尊阿彌陀佛行基の化坐像八尺は
所より二町小三時あり具辨所の教師堂ありて開基は行基也

阿彌陀堂

山科 毘沙門堂御門前

毘沙門堂の傳教
大所の開基ありて
初平安城今出川
の山あり今塔
之壇といふあり
前縁小見たり





毘沙門堂

袖籠

むうしん棒竹鼻乃かより小糸殿の祈場
ありとこより今定まらば

拾玉

ありとこより今定まらば
其の棒の袖くまを 慈鎮

宇治拾遺云此棒の原は宮川原といふ所小袖くまを
たのむ所あり又盛衰記云東路や袖くまの原も越垣と
まはれり
本とてこれを立はる後衣袖の原乃秀のほよふ 衣三石府

おれさゆの袖乃河原のさよふるる歸るの原
うらん 心敬

明王寺

山棒陵村街道より五町こり小坂乃中あり
禪宗中興龍淵禪師

本尊十一面観音

慈覺大師の允之傳四尺眼士文殊普賢人
安曇元は後内小同淳檢金一寸八分
侍云天智帝の清冠小納めゆり

鏡池

寺内小あり天智帝登天し後内小玉體と
靈水寒暑小増減あり又は陵村小天智帝の臣下の苗孫今又のり

鏡山

明王寺の後山といふ藻塩草云天智帝乃清陵
詞林采葉抄云鏡山の二所小あり山城道は豊前

萬葉集第二從山科清陵退散之時

やとこあるころ人さみののころ清陵はくふ棒の 額田主

凌のふよりへとよ

安祥寺

高野堂と号は由縁
伊勢物語は清高子くまゆりて安祥が少後
人さゆけりのなれふとてよとゆ

このまらうりてくふあふまの別とて
安祥寺小殿居して来とてり
法印観輪

青龍権現 當寺の鎮守なり真言密教之當山の
乃鎮守青龍の御取奉りて佛法を
八月小を皇太后追福乃為小安祥上下兩寺を建立して所獲板始行

高野山應其上人再興と
松坂粟田口より四町こり松坂原といふ
て車棧なかりあり松坂増田とて之を位墓四宮河原より

松の産云くまゆりてけとてり
りくありとあり

松坂

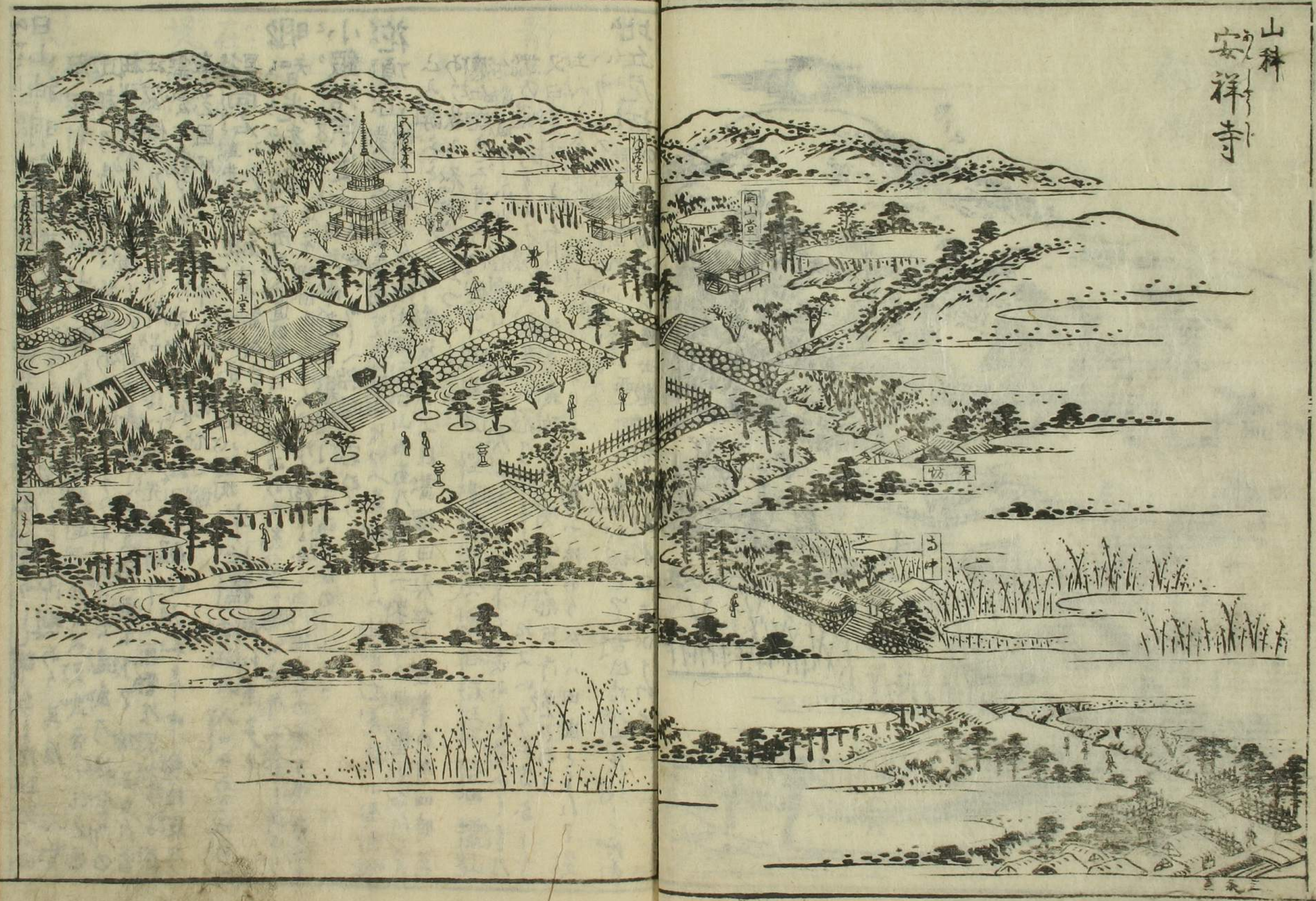
て車棧なかりあり松坂増田とて之を位墓四宮河原より
きんた云くまゆりてけとてり
松の産云くまゆりてけとてり
りくありとあり

長明

山科
明王寺
鏡山



山科
安祥寺



日山神明宮 粟田町の鎮坐の義教歴久遠少し神あり其後神記小曰

影向石 鳥井の龍神本 當山あり 宇治橋 當山あり 宇治橋 當山あり

明智光秀塚 日所黒谷道の東三町計あり 志願寺 頭成山所小敷し所あり

小鍛治宗近水 日所佛光寺墓所門前の西石垣の下小あり

花頂山 粟田町の西青蓮院の傍にあり 華頂寺 法華玄義科小華頂佛

比丘尼坂 粟田町の西一河大谷の傍にあり 古は地比丘尼住して修業

將軍塚 粟田町の北にあり 古は五株あり 極成帝の神時

青蓮院 粟田町の北にあり 天台宗にして始祖の傳教大師中興の僧正行玄

和尚形 保延四年十月廿九日座主小住を治山十七年之身二覺快法親王

耕雲草菴 花頂山の真又曰山あり 耕雲の権大納言右大將補任藤原長親卿

在原行平卿亭 鴨川のかつりあり 三代實録小くあり

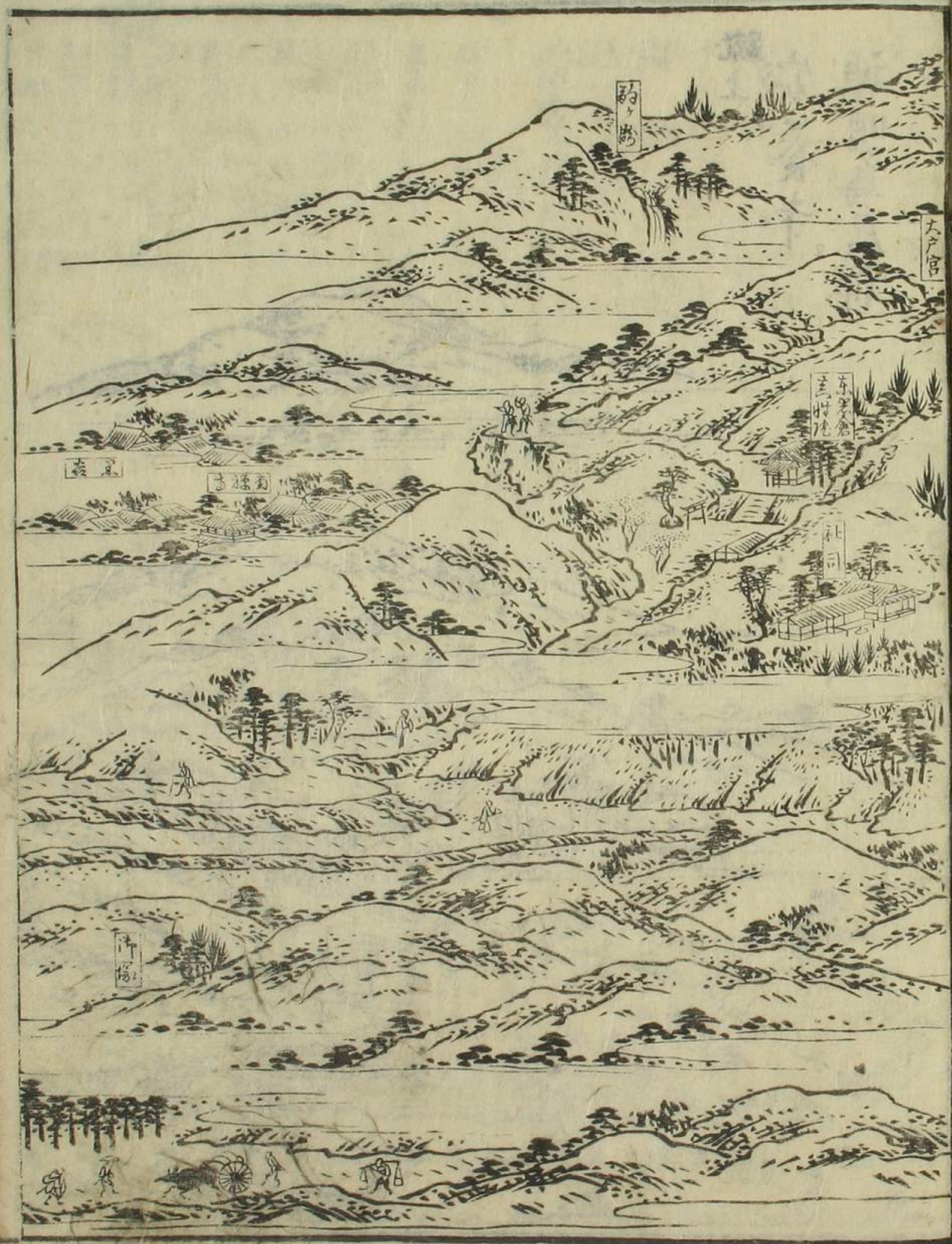
堤河 鴨川にあり 又近川とも近きは系

六帖 月とのあせりて絶せり 信實

稜殿 鴨川の東にあり 小治の末にあり 大軍會津渡の所之百練抄小くあり

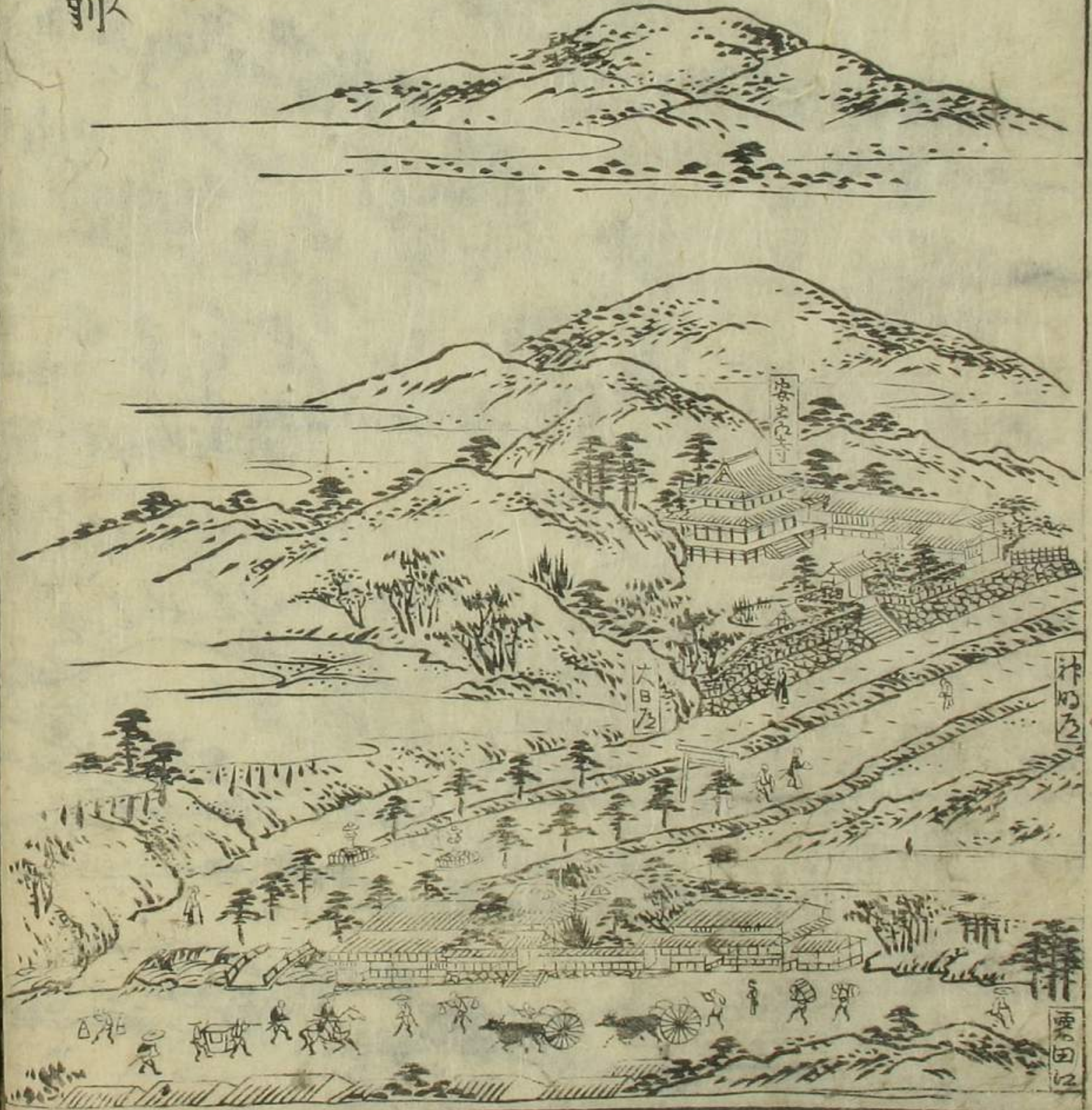
又黒谷傳之法師上人の資子心寂師小治白河松尾子とあり 所小治を居る

應永十五年



大日山
神明宮
東岩倉

蹴上
安養寺
神明鳥居前



法勝寺舊蹟

下田崎あり六勝寺の一奠りていひへ傍東大屋あり
金堂講堂阿弥陀堂五大堂法華堂藥師堂九重塔八角堂
常行堂曼陀堂不動堂山王社八十六間廻廊南大門北門等
行幸しなり中興の祖は慈藏上人といひて後金堂御尊茶
西教寺大車鉢と名付寺應仁の亂に焼けて後金堂御尊茶
り塔壇九重の塔ありて時々田畑より佛舎金具穀品派
加十回餘の芝生ありて中田崎の本三株あり土人本
は四の法堂ありて時々田畑より佛舎金具穀品派
俊寛屋敷 今村東の石乃中あり法勝寺修徳寛僧都の住し
系傳のさうり小法勝寺とてとて
系傳のさうり小法勝寺とてとて
系傳のさうり小法勝寺とてとて
系傳のさうり小法勝寺とてとて
系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて

系傳のさうり小法勝寺とてとて



くさかれて
宿う家
花の
こさね



祀をえうたより蔵の乃
かりくはりねの
一本小舟を多の門小舟
袖引多引多の樹心
縣一週禮の十里小
廬あり廬小飲食
あり二十里小宿ま
宿小路あり
の六村の教業
樹の樹のやう
あふ

風羅坊舊蹟 岡崎ありとを定ありは所小幡夏紅阿弥芭蕉翁

都徑徊の時 くさくさ小侍し没しめて後其門下の多落人惟然さ

小棲て朝夕の勤 小翁の發句とれ後うて風い木魚うらあどてやこ

ふふ心と清し 月雪とあわれまらるる後小室永八の年二月九日とてむあ

ありゆる遺詞 ふら全銀と却し翁の肖像六の形見 菅簾 笠杖 行硯 空囊 紙編 袈裟

惟然乃門費播 ある千余附属に今小姫後の小増位ふ風羅坊と

遷して堂 盛つ小安並し側小塚と築ての簾の塵と絶て神とされ

美塚 くつふ其側小姫府の城主の發句と石小鶴くさる 委六頂大明名示 圖今ふふふ

満願寺 下岡崎東側あり岡基八日亭上人 岡伽井 聖前乃ありふふ是法勝寺の

文子天神 當寺乃鎮守之堂前の小あり 初小井ふは後世さふふの

墓倉藥師 將後安多ふふ一ふふ今の下鴨乃地墓倉里あり一年洪水 寺院破壞して奉多し漂流しさふふとて

故小墓倉山 法聖寺と号れ

親鸞屋敷 岡崎元應寺前町の南部家の北竹林の地あり しし新又

堀出観音 乃小川堀殿下の別荘の回地あり 田の字と月輪としは地ありふふ所

東天王社 諸社根え記曰祇園牛頭天王 初は橋廣岡明石浦小垂連し中ふふ

願成寺 東天王の南ふあり大念佛あり ては別佐を赴寺の刻所あり

秋葉社 上岡崎南側あり 近秋葉社権現三対坊は齋齋して

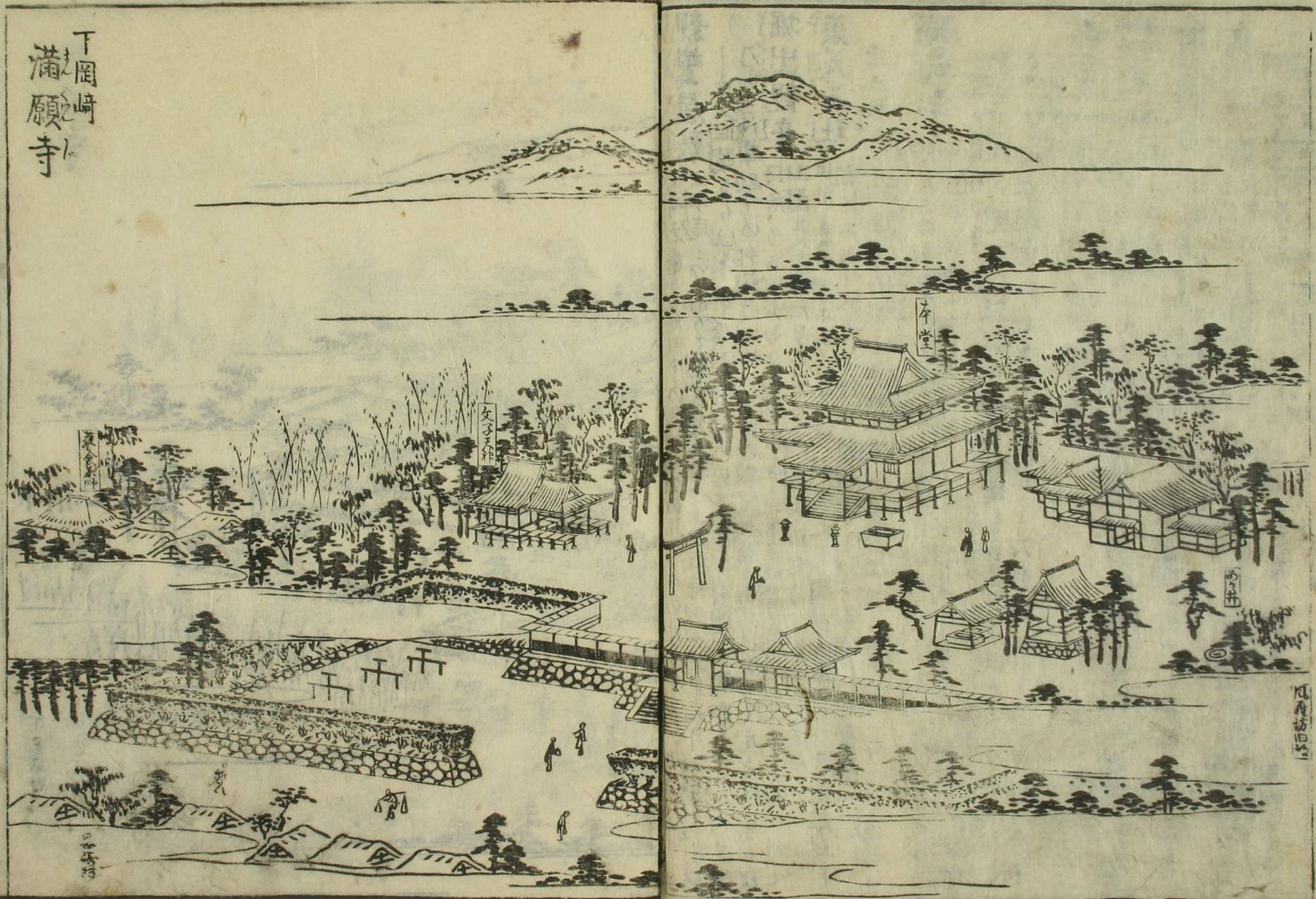
御所稻荷社 即所小側あり 初は一條殿内ふあり一板さし

鳥居大路 上岡崎南側あり 三條十禪師止ふ至は入後とて入事大路あり

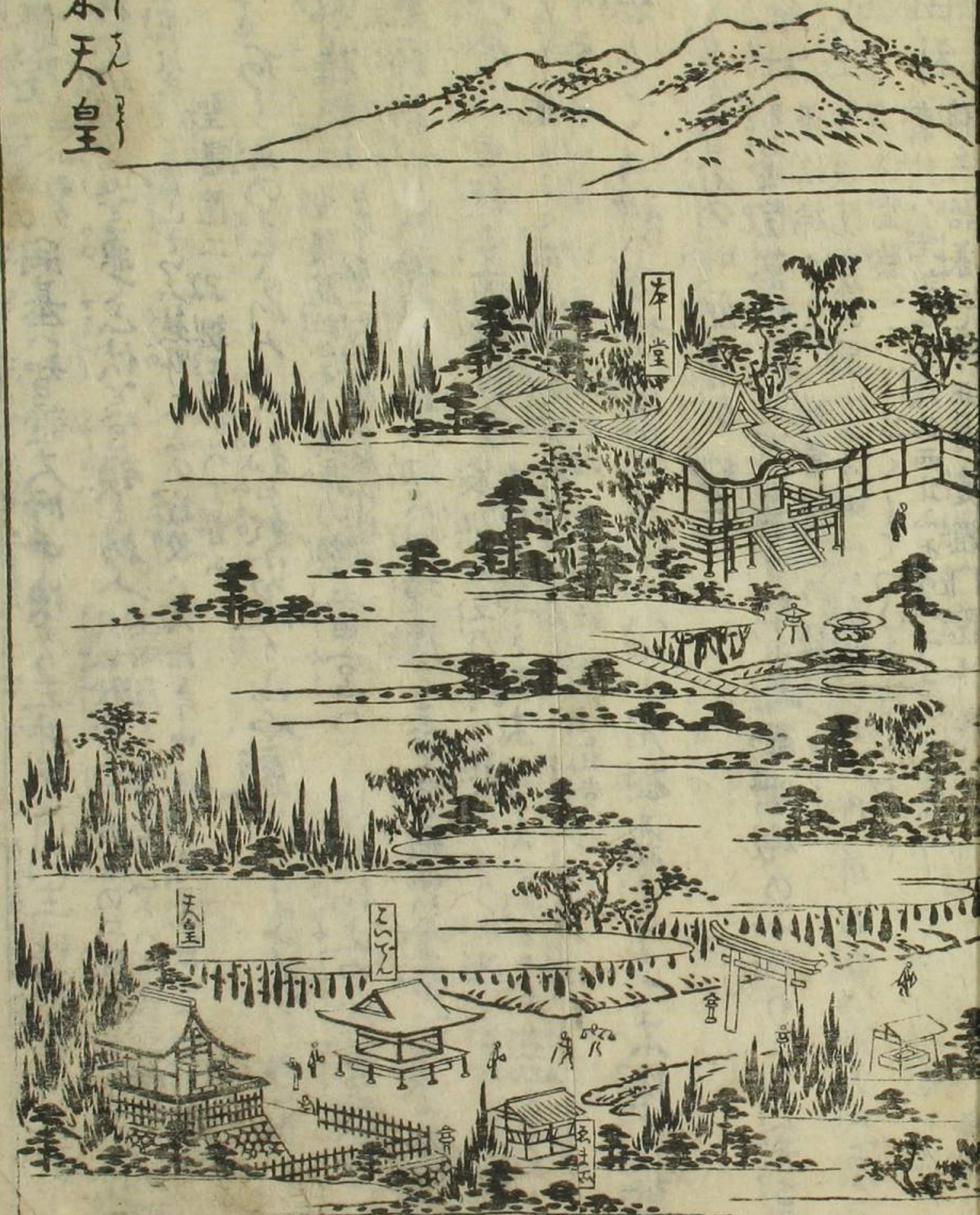
押寄 て多居大後ふと掛らふらふ 古鳥居大路と家名とて人居付とて

さり且苗鹿 今青蓮院門跡の家名と

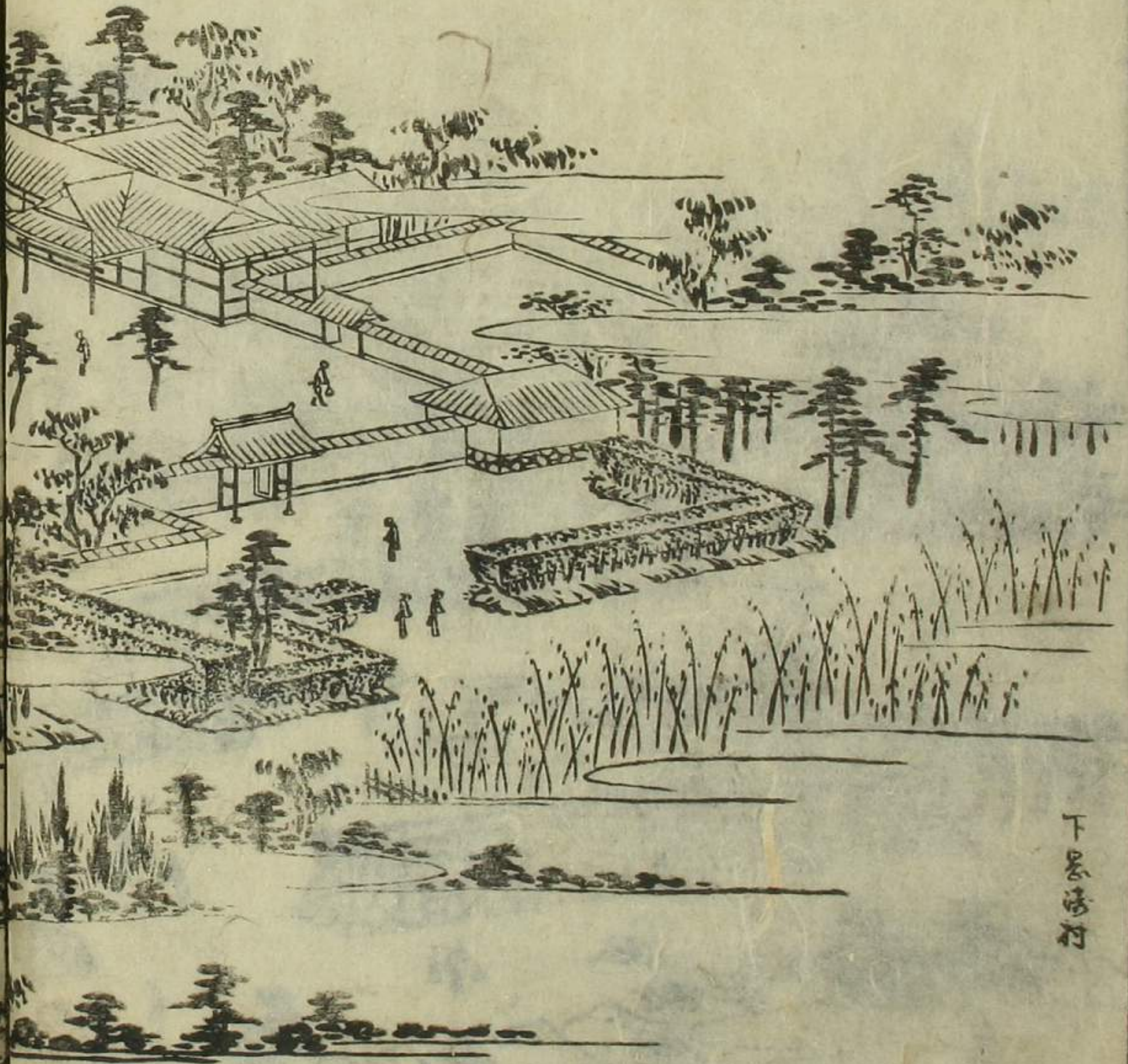
下園崎
満願寺



東天皇



願成寺



下

聖護院

上國

開基の智證大師中津より三井の津門主は親王侍住職

のひは道と兼て山伏と官領し終る

凡て伏見天台真言の二流あり天台は當院に

小属はまに當山といふ熊野之山の檢校

天治年中僧正行基故具初より

草庵

何れも玉のまのりくれの日影ふりくもて庭なりと人 頌阿

熊野權現社

聖護院社あり鳥居乃額

當宮ハ 後白河上皇の勅願にて

熊野新宮

勸請し終る初に封境廣くをて宮殿あり金少と鏤を樓門

廻廊

抜舎經堂巍々たり 寂初建之乃時熊野より土砂と運りて宮殿

今あり所ハ本社富士淺間社 楢荷社 役行者堂あり

惣として社ハ方境廣くともとも老樹本林とて一本陰葉羽翳

新羅社

聖護院築垣乃棟頗あり中小新羅明神の山祠あり是二井さの

飯成社

聖護院森の野あり世小お底狐といふ所楢荷の川上氏さまと

栗田社

舊地ハ聖護院森の西北あり一へ大渡あり宮殿あり

諸神記云 今田地乃字坂ヒトク井とて土人崇徳院を謬と唱つるや

栗田宮ハ 崇徳院 宇治惡左府頼長六條判官為義故元暦元

年四月十五日勸請し終る建久四年八月十五日己酉祭と始む自今以後今

月中酒を用がれり室有と下らん乃内蔭寮の清幣定命と之らん

上卿民部卿經房卿使内藏助惟宗久義應永七年九月九日當社の神供

御精進也 又中臣日記云 建武元年七月五日栗田社焼拂の所小島中重連

身命と弁く神體墾所宮取奉り文和二年二月朔日清再建同六月

廿日卜部兼敦承て遷宮と神主ハ隆昌重連兩人更く五年宛され取補と

盛衰記云 元暦元年四月十五日崇徳院の遷宮あり春日の末の河原東あり

け所ハ大炊殿の跡先年の戰場也 又故宇治左大臣の廟曰く東方ふと

玉葉 伯とて一板の築らねたまさとのりさほく生舟人 後鳥羽院

十訓抄 家集子の日やまも忘まねねと乃社や昔もさるる初く後 竟存

松塚 聖護院 乃西南二町許あり是則宇治府長官の社也

善正寺 聖護院の東にあり法華宗にして本因寺小福院同基日鏡

釋迦堂 壇乃地本堂乃西小あり初に佛を金銅の坐像九寸

月輪 聖護院の西にあり字小あり聖月輪兼實公の別荘に於て

右大臣吉備公像 黒谷觀音堂乃内小安室法衣黒袍衣着して坐像

明星水 黒谷觀音堂の頭を和訓以教國人

稻荷社 大明神と書尺寺説曰むり當の鎮守と改鳥居の額日本家初稻荷

迎彌寺 真如堂の南あり時宗初に系振一條小あり故小一條道場と

芝薬師 迎彌寺乃西隣る靈芝山と号し之に大宮又小あり今芝薬師

本尊薬師佛 運慶の坐像二尺五寸十二神將佛工運慶の

本尊不空羅索觀音 惠心坐像一尺四寸四方の佛殿法堂庫裏

圓羽像 當寺小あり寺記曰將軍尊氏公の夜の夢に女未三女

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

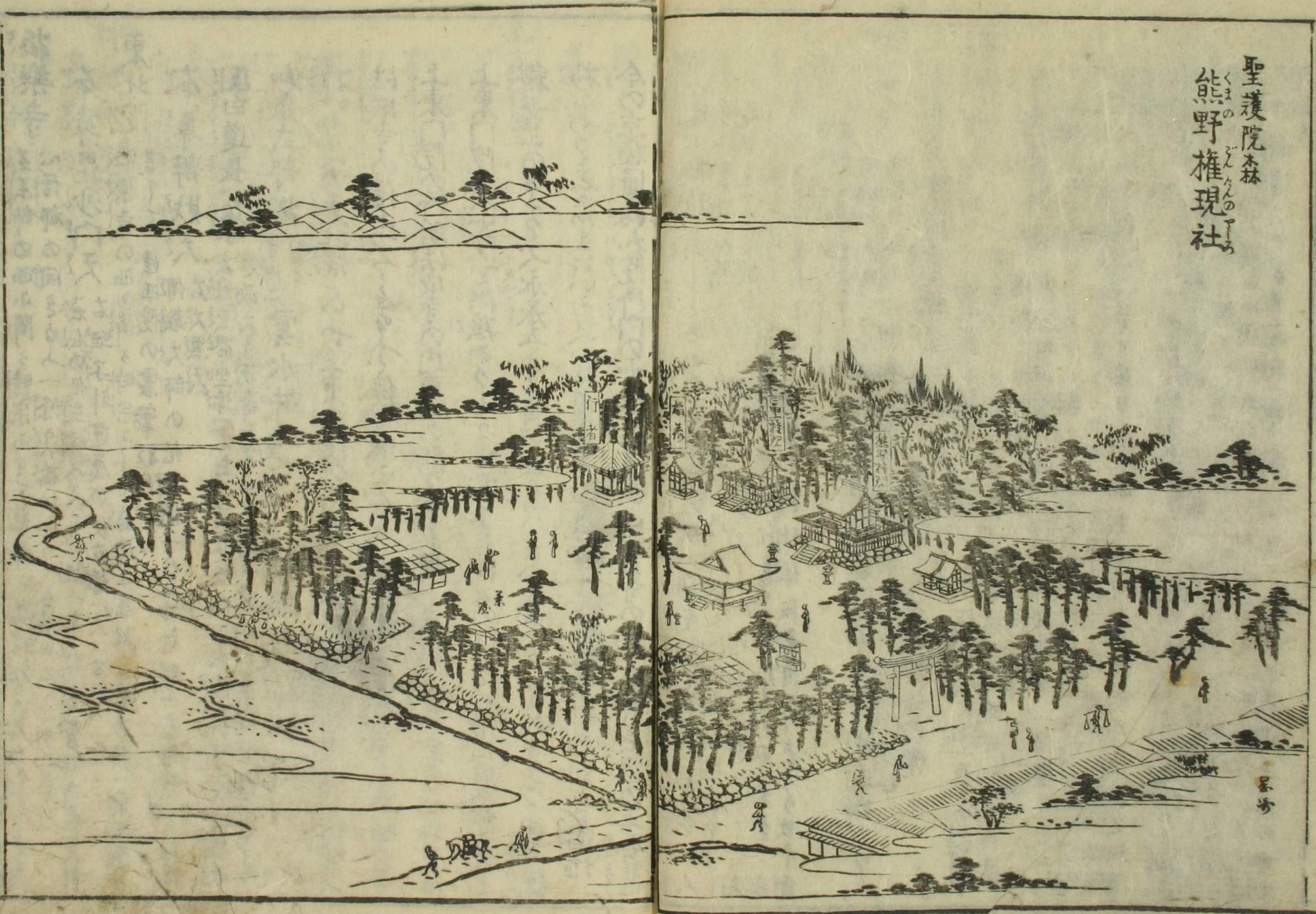
乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

乃教書又の家長高師直り状あり又後多福院寺附の佛舎

聖護院森
熊野権現社



極樂寺

芝系師の西小隣り時宗の藤澤小属初ら五世宗よりして意

本尊毘沙門天

右毘沙門天像一尺二寸計。昭王在位。菅仲元二尺計。

東北院

極樂寺の西小隣り時宗の藤澤小属初ら五世宗よりして意

本尊辨財天

右大黒天像一尺二寸計。昭王在位。菅仲元二尺計。

圓白道長公像

昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

和泉式部塔

寺内小。雲水井。堂ありの西。軒端梅あり。

法成寺の傍

上東門院の所。法成寺の内。東小の隅。昭王在位。菅仲元二尺計。

上東門院

東小の隅。昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

釋書

永承五年十月十二日。天白王東小院。昭王在位。菅仲元二尺計。

抄

天白王東小院。昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

今

京極通。法成院。清門の山。遣送院。廬山寺等。昭王在位。菅仲元二尺計。

圖考

載る。昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

元真如堂

直如堂の山下。壇乃地。真如堂の本。昭王在位。菅仲元二尺計。

本尊阿弥陀佛

白河院宸影。同女院御影。昭王在位。菅仲元二尺計。

蓮華童子

附屬瑠璃壇。直如堂草創の時。童子を。昭王在位。菅仲元二尺計。

佛觀

無量壽經。説く。人時無數。乃衆生法。昭王在位。菅仲元二尺計。

夫人

往生。如之。阿闍世王。善道。昭王在位。菅仲元二尺計。

ては

靈土。と。叔。具。上。昭王在位。菅仲元二尺計。

永く

坐。して。昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

あ

り。昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

東三條院

昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

神樂岡

昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

新六

昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

後撰

昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

道真

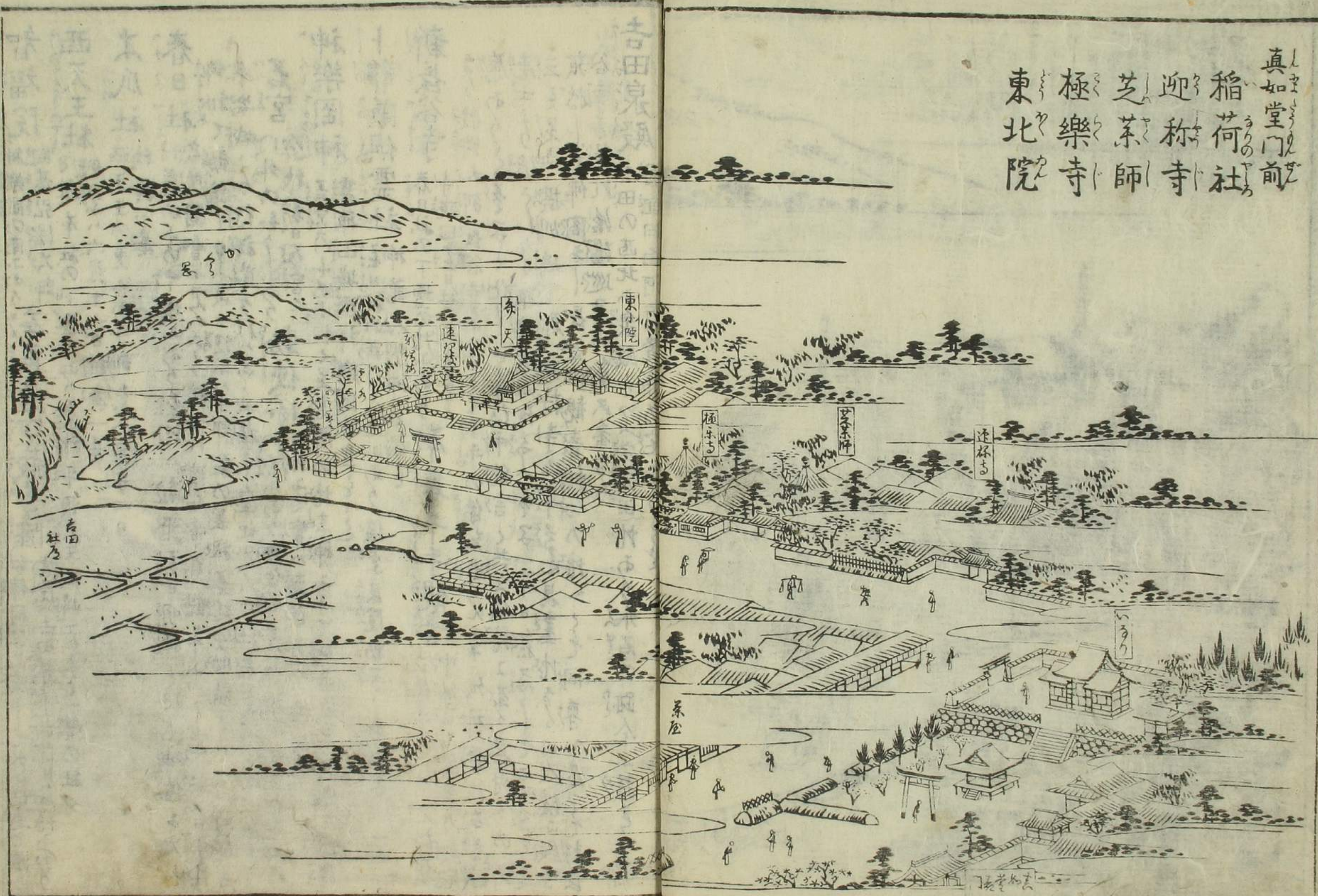
昭王在位。菅仲元二尺計。昭王在位。菅仲元二尺計。

坂根の茶
 りえあは
 うらや
 ふくく
 けろて
 やくく
 かのの
 のま
 店
 色
 八
 真
 へ



白
 の
 王
 の
 山
 の
 境

真如堂門前
 稻荷社
 迎稱寺
 芝茶師
 極樂寺
 東北院



吉田泉頭
 本門
 西門
 東門
 南門
 北門
 東院
 西院
 南院
 北院

吉田社

茶屋

真如堂

智福院 神樂岡の南あり 本尊 虚空藏菩薩 秘佛厨子三重にして外は注連と張る

西天王社 所本社の下壇あり 祭神 牛頭 天王 圖崎 天王と一雙の社

木瓜社 西天の東あり 例祭 八月廿四日

春日社 所の中壇あり 祭神 南都 春日 神と曰し 神傳を大

平安城 行行遠くあり 祭神 皇妃 皇女の社 祭神 皇妃 皇女の社

若宮 祭神 若宮の神 勅使 壇 祭神 若宮の神 勅使 壇

神樂岡神 祭神 神樂岡の神 祭神 神樂岡の神

ト部兼俱靈社 祭神 龍大明神 祭神 龍大明神

新長谷寺 春日社の下壇の地あり 本尊 千手観音 中納言山陰卿乃殿宅

應あり 彼卿 春日社の下壇の地あり 本尊 千手観音 中納言山陰卿乃殿宅

吉田泉殿 吉田の西北に泉あり 水石の跡今小孩を明

唐土より 梅香木 祭神 梅香木の神 祭神 梅香木の神

谷寺 祭神 谷の神 祭神 谷の神

本真如堂

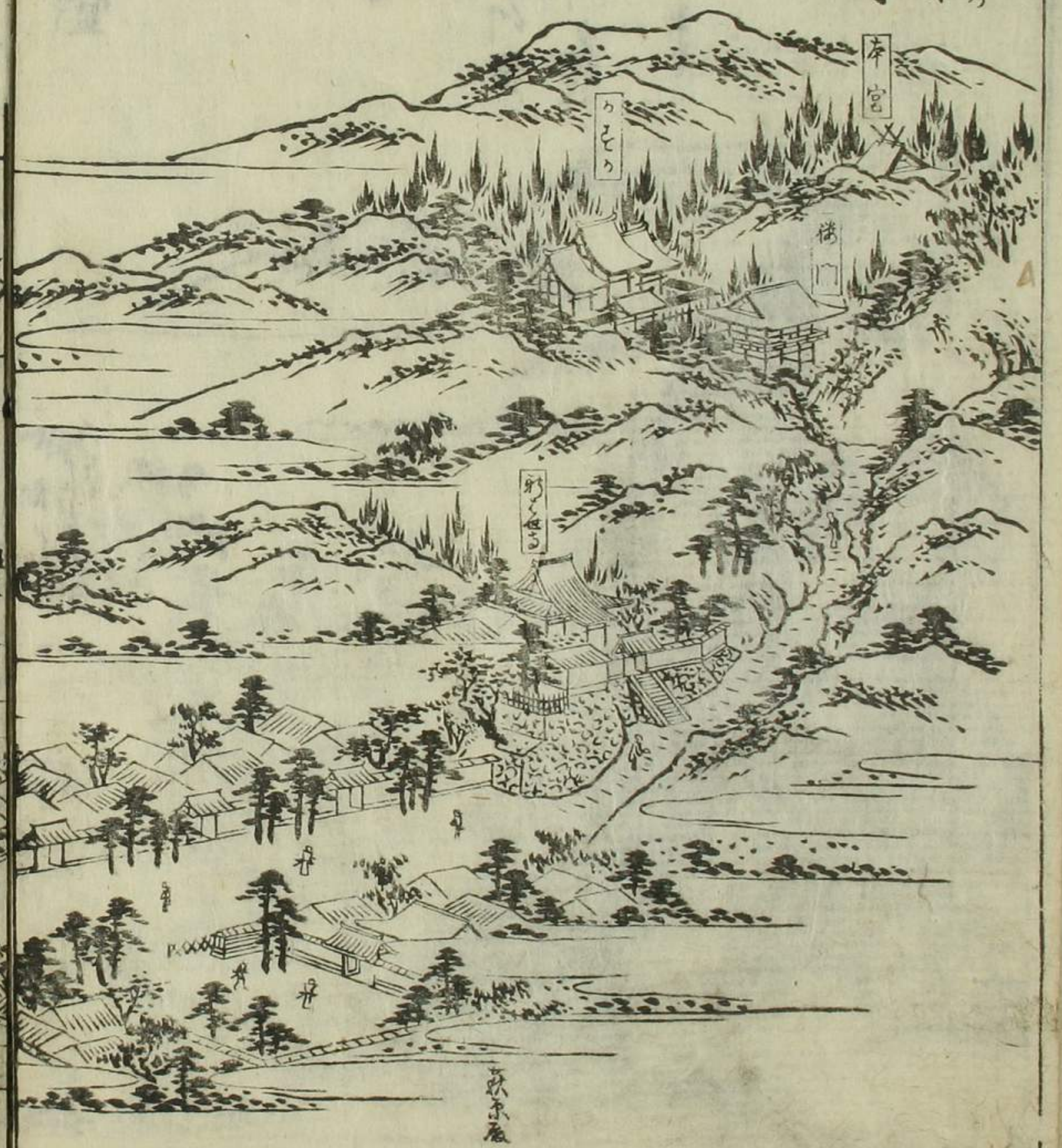
涼しき 野

念佛の

去来



吉田春日社
新長谷寺



夫木
水末し吉田の
森北谷乃花

今そそ
中の

玉くりとそ

聖宮元大長

玉葉
とらんたし

おひま居と

山麓の名跡とくりふ

従三位
為美夫

業平朝臣廟

吉田の與小ありて今詳ありて
日廿八日子の辨生報五十六歳小面ありて身返りて人にて誤去き同
又少報清原光仁小僧にて
中將の靈と崇めありて

二本松

吉田村の外西小一町計小ありて
一本松 初は所小地藏堂ありて

法性寺

鴨川の東岸今出川橋の南小あり法華宗開基の阿闍梨朗慶之
初相別鎌倉小あり初因寺と共又紹呼小川不其とたて

正栄寺

法性寺の隣小盤秤 天祥等鑄形の模掬あり流人にて奇異と伝
開基唱卷上人 常林寺の隣小隣は澤土宗

長徳院

常林寺の隣小隣は澤土宗 地藏堂
今出川橋東爪小は地藏堂
の二軀板安至ん唐佛之

武藏寺

紅の東一寺道の左小あり法華宗當寺江別儀井の家是也
寺の東に其後秀吉公遺跡あり其法号と圓泰院と号に故小寺号と改
出ては所小僧とといひ大なる遷

青龍寺

田中村小あり天谷宗坂本教寺小属に本寺の地藏堂小野皇の伝説

佛々

百万遍西門の前島の字之初は地藏堂にて地中より水涌出て其寺奉

地藏堂

所西門の外南向小あり奉る延命地藏堂春日の伝之儀又尺計

後二條院陵

山城國愛宕郡小田村中あり帝陵記曰 後二條帝陵
雍州府志曰勅修家の一代五條大納言國綱卿の墳より宛國綱卿元富

二軀石佛

陵の東白河道の左傍小あり二軀共坐像四尺計甚古也
希代の大佛之合運圖云寶徳三年三月白川の佛係動く

陽成院陵

東の指し葉子奉り三月十日陽成院を上皇於神樂園乃

小督局家

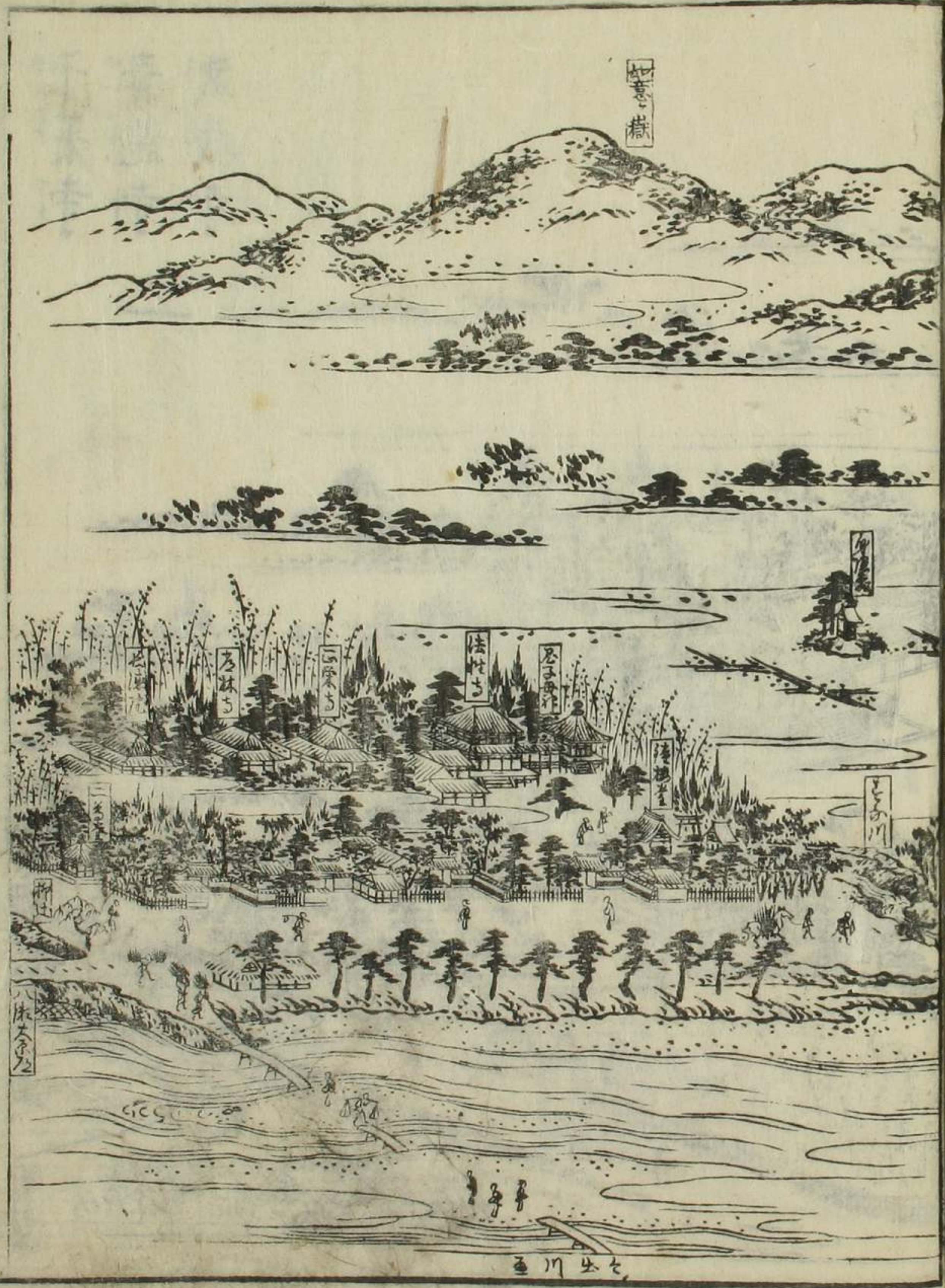
白川の傍に末小ありしと平家初長門本小云信西の女天下身の美



後橋
 加も川の
 水原に
 行て
 照月と
 友人
 云は

此の西の
 へは
 て
 あ
 や
 寺
 小
 人
 水
 知





砂川
柳ヶ辻

川原

五川出

千葉寺
青龍寺
武藏寺

菽蔭や
冬の日影乃
千葉寺

標差



千江

百方

源三位頼政山莊 野谷の東中山小田河あり 靈鑑之治承四年五月廿四日

小津謀叛叛勸奉_{入道}三品中山堂并小山莊等 燒失と云是則高倉宮

靈鑑寺 鹿谷のあり 本尊不動明王 智證大師の化 開基_{靈鑑院尼公}あり

後水尾院皇女妙法院 竟然法親王母公とせらる代々比丘尼所清住職あり

如意寺 靈鑑寺の南ありて谷原隔て隣あり 開基_{智證大師}あり 鹿の傍あり

忽_忽 觀世音乃靈像現_{嶮岨}と平均と_{大所}の_{靈鑑寺}の_{尼公}再建あり

逆の世滅亡し久しく荒廢の地とせり 坂靈鑑寺尼公再建あり

靈本_{本堂}の_後あり_{希代}の_{鹿宮}あり 因_{加井}あり 日所あり 靈泉あり

龍王宮 如意寺田の東あり 如意寺の伽藍の_社の_巽二町あり 足あり

樓門_澗あり 法谷の_上あり 如意寺の_{講堂}の_前出あり

池地_藏あり 日所の_東あり 山_嶺あり 石_備あり 池_藏あり 坂_至あり 初_{如意寺}あり

千石岩 龍王宮の_城の_邊あり 如意寺の_傍あり 如意寺の_樓あり

如意城 日所_上五町計あり 足利義隆公の_遺之_城の_後天文十九年

大豊明神社 鹿谷村_巽の_方あり 鹿_{牛頭}天王あり 土人生土神あり

辨慶屋敷 田の_字あり 鹿谷村_西の_方あり 鹿_{牛頭}天王あり 土人生土神あり

十禪師社 鹿谷の_小銀_閣寺の_門前あり 鹿_{牛頭}天王あり 土人生土神あり

中尾山 鐵_閣寺_御厨_の間五町計あり 足利義隆公は_地小_居あり 土人生土神あり

白河 水_源の_山中_村あり 白河の_野あり 鹿_{牛頭}天王あり 土人生土神あり

白河 延喜諸陵式之_右皇_右藤原氏山城國愛宕郡上粟田郷あり

愛宕名墓 諸陵式之_贈正一位源氏清_右上天皇外祖母山城國愛宕郡

後愛宕名墓 二代實_録之_貞觀_十年九月二日_左政大臣從一位藤原朝臣良房

古今の_後ありて_たる_白河の_野あり 鹿_{牛頭}天王あり 土人生土神あり



鹿ヶ谷

石の湯

石の湯

鹿ヶ谷

如意寺

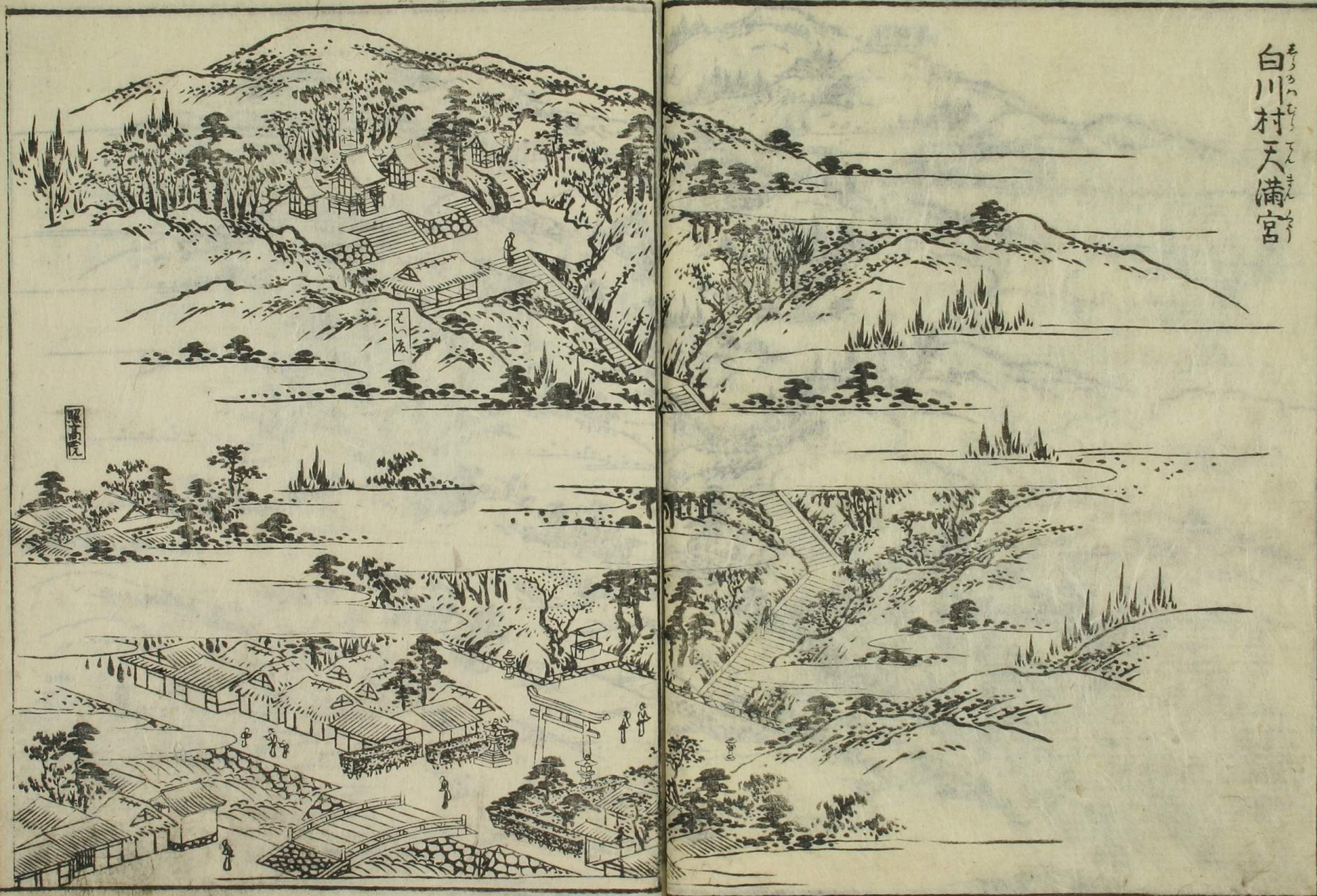
如意寺

如意寺

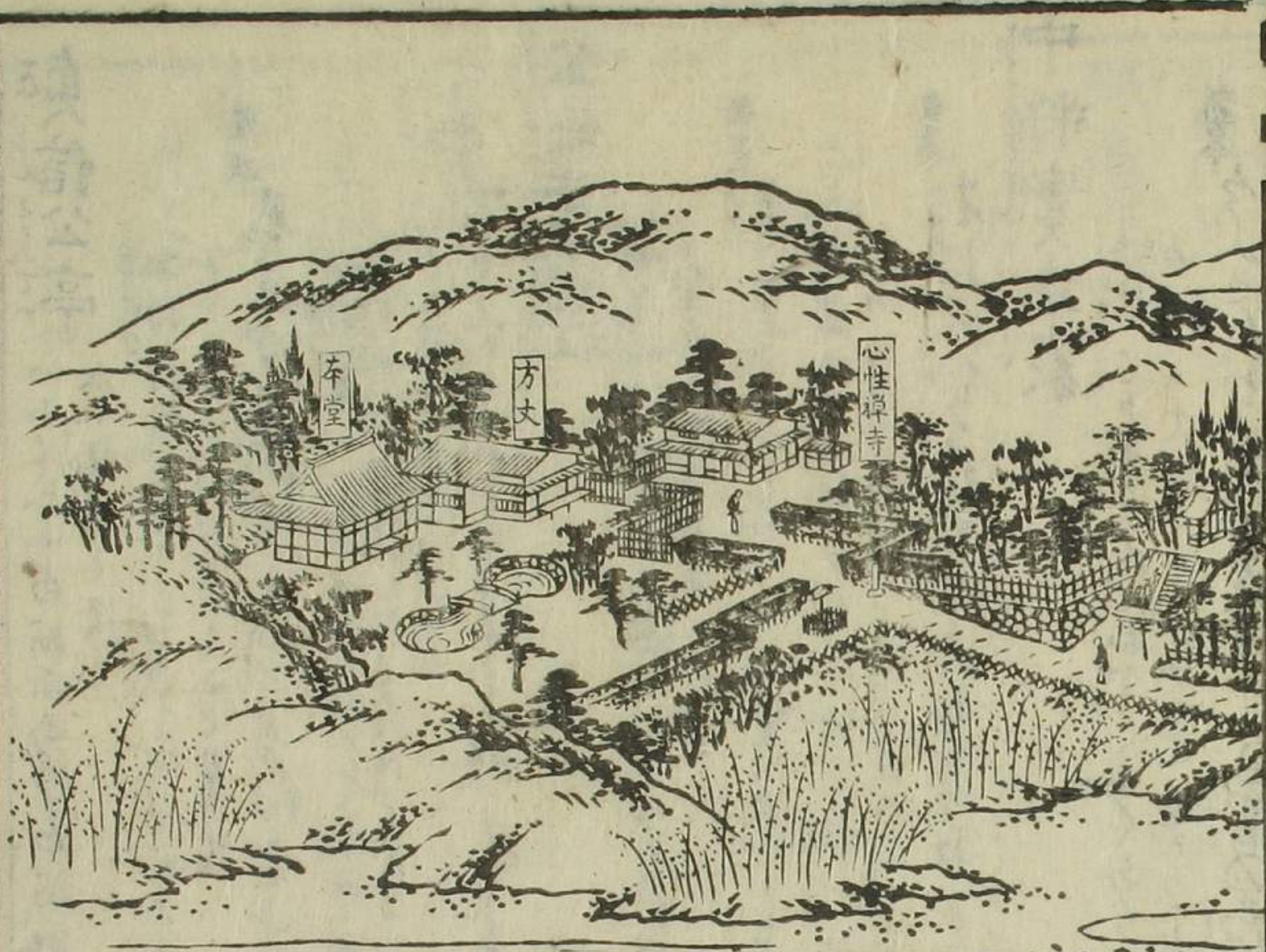
如意寺

鹿ヶ谷
霊鑑寺
如意寺

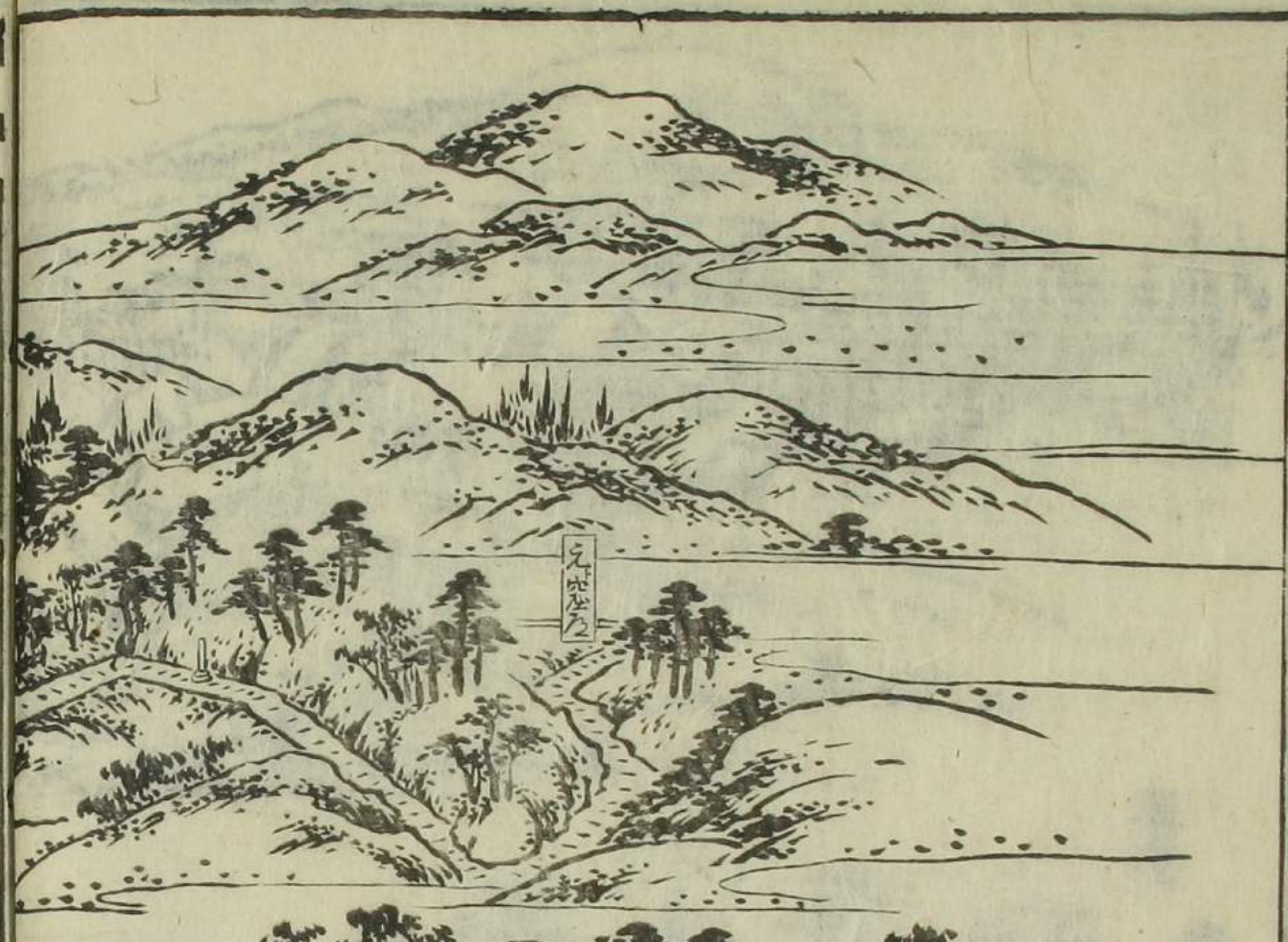
白川村天満宮



照本堂



白川
 心性禅寺
 衆願寺
 釋迦堂



貞信公亭

白河ふあり白河殿とす

貞信公亭 今詳あり
白河のふあり白河殿とす
白河のふあり白河殿とす

白河のふあり白河殿とす

白河のふあり白河殿とす

白河のふあり白河殿とす

公任卿山莊

公任卿山莊 白河のふあり白河殿とす

公任卿山莊 白河のふあり白河殿とす

公任卿山莊 白河のふあり白河殿とす

公任卿山莊 白河のふあり白河殿とす

中將實方家

中將實方家 白河のふあり白河殿とす

中將實方家 白河のふあり白河殿とす

北白川天満宮

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

北白川天満宮 白河村南の方あり土人聖神と云ふ例あり九月十二日神樂一基あり

瓜生山

瓜生山 心性寺の良ふあり

瓜生山 心性寺の良ふあり

瓜生山 心性寺の良ふあり

瓜生山 心性寺の良ふあり

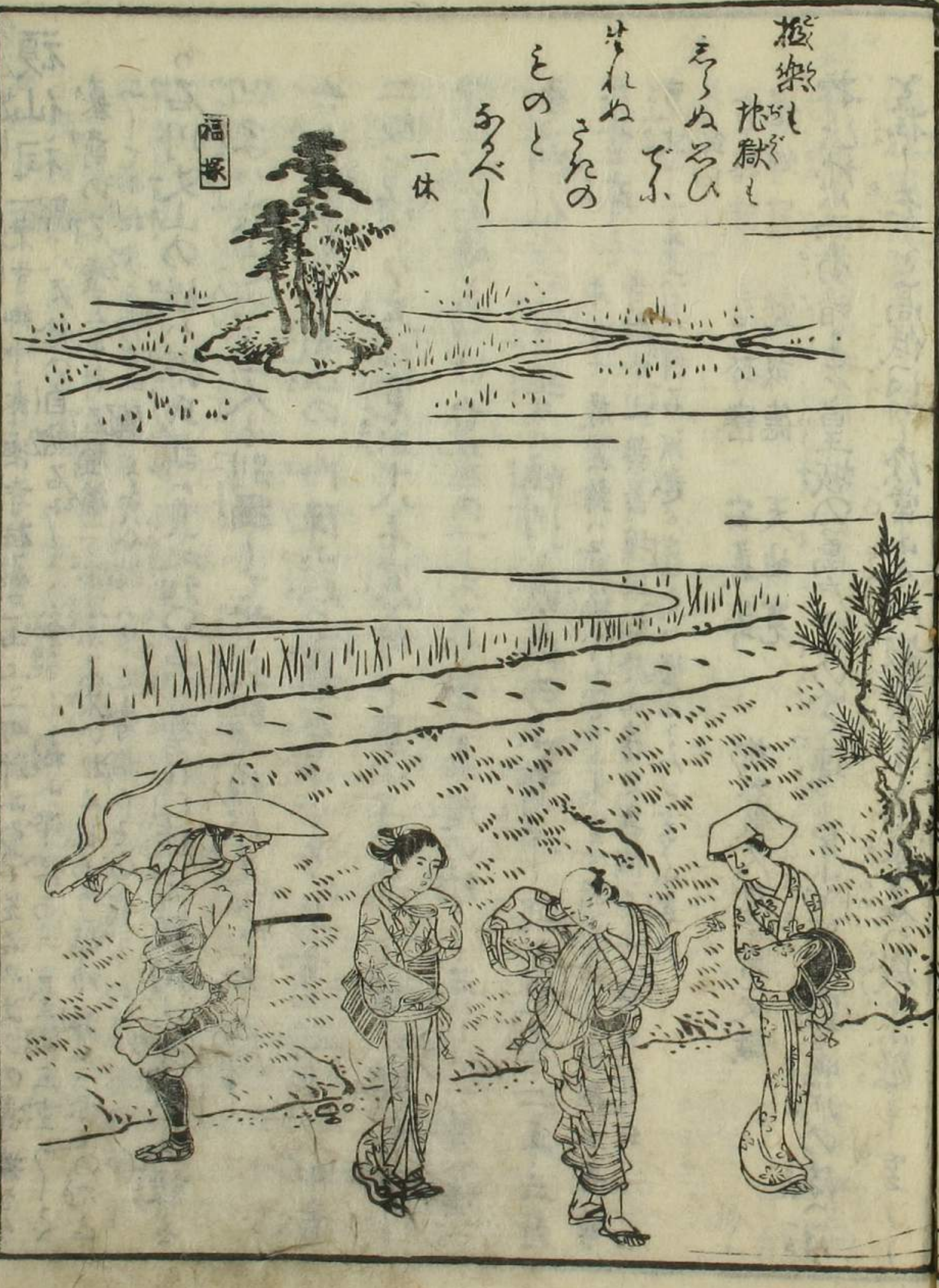
瓜生山 心性寺の良ふあり

瓜生山 心性寺の良ふあり

小白河の石佛は希代の
 大像にしていつまの代乃
 他とつふ事とあるは列
 子小孔子のほりく西
 方小聖人あり乱に
 言とていさね
 さわりのるを



極樂
 地獄と
 まるぬるひ
 せれぬ
 ことの
 あるべし
 一休



碩仙祠

一葉寺中舞樂村殿己山上二町計ふあり是石川文山の壽壙あり
墓前の石壇二間計石燈爐二基巡り大木の松之株あり地都赤土の元ふ
石川文山の姓源氏諱重之初の名嘉若門後を親衛と改む一の諱を
四字ハ文山之六山人と別稱して世に別ふ俗にえお乙卯五月

台命と當りて園山の陣陣烈々竊小宮中と出て不意小軍八甲首
二級と得たり具后寛永十八年官と辞して羅山子と友々常小詩を吟
諸山の名勝と訪ひ台麓の一葉と相て嘉道の地々芽と把て屋と構へ
新小詩仙堂と宮誓て鴨川と渡らば小塾居し終小寛文十二年五月

廿二日卒と 年九十歳其餘へ前編ふくく大山年譜云正保二年擇地舞樂
寺村中山築壽壙構祠於山房之巽隅自号碩仙祠云
寛文十二年六月碑石に建る序文へ繫ふふりてふ畧に
具銘曰

右器識 居林巒 安義節 柳谷散人笠子芭父識
泥蟬冠 懿哉德 天地寛 柳谷散人笠子芭父識
拵け地ハ西面暗まそ皇城の萬戸雲の如く連々東小と巡る高野鴨川の流ハ月
と揺るを高低日ハ常小ふ寂寞として英名ハ歳々小流一室

舞樂寺天王社

舞樂寺村ハ腰ふあり系八天王と同社玉人生土神ハ諸社根元記
舞樂寺ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ
舞樂寺ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ

金福寺

舞樂寺天王の下ふあり禪宗南禪寺ハ屬ハ中興ハ鉄舟ハ尚ハ
舞樂寺ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ

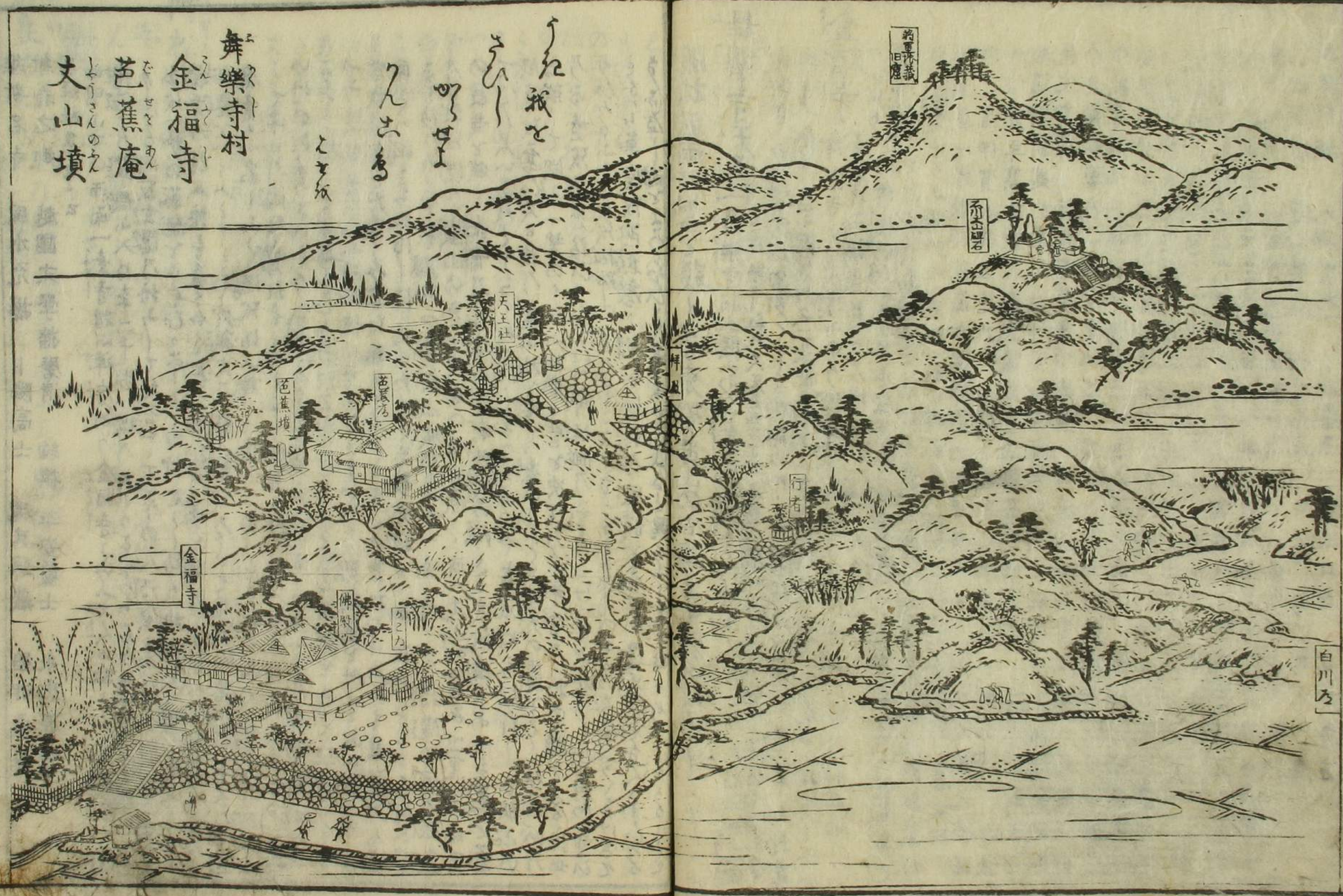
芭蕉庵

芭蕉翁ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ
芭蕉翁ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ

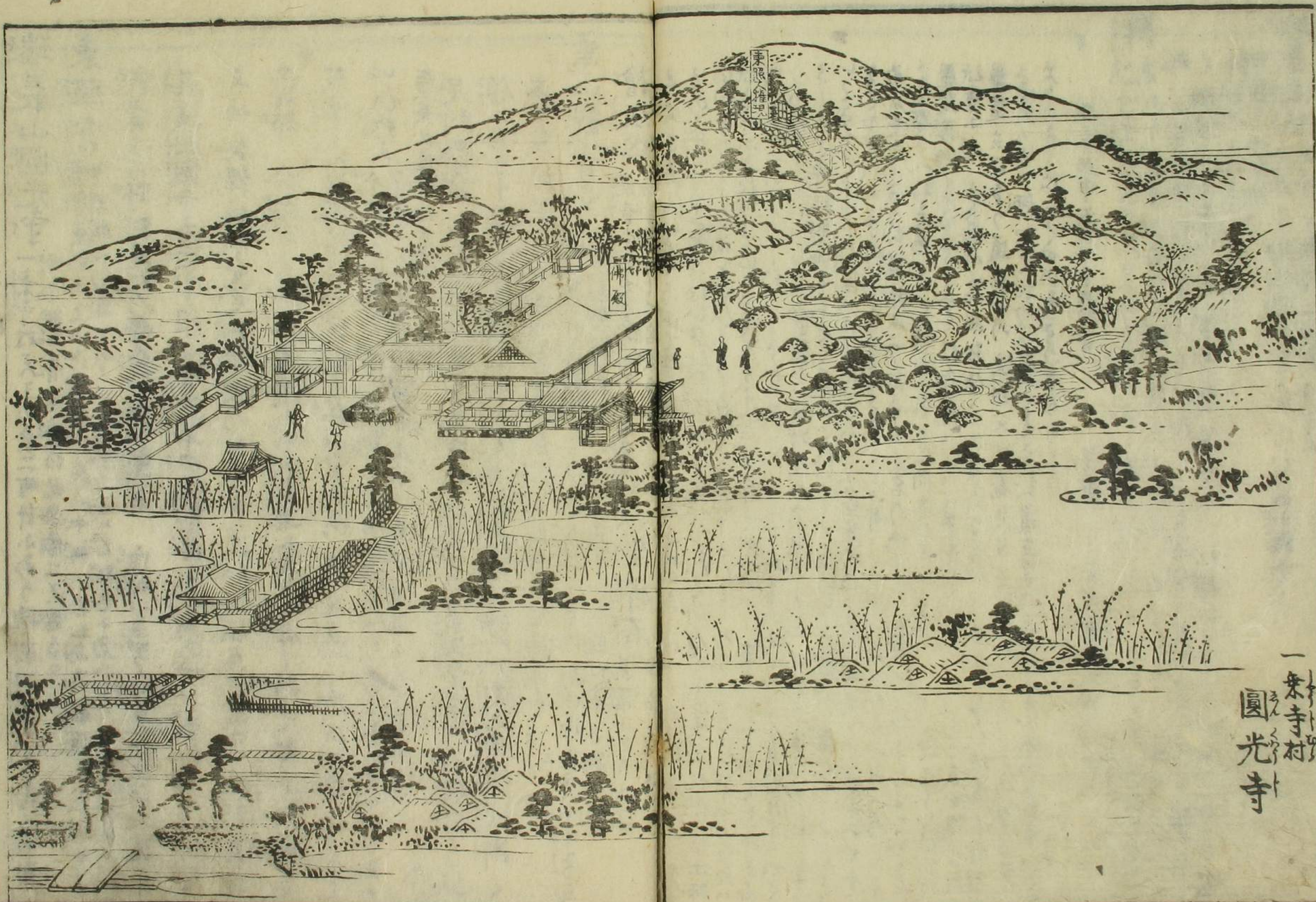
李門壙

李門壙ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ
李門壙ハ一葉寺ハ遊覧ハ又二水記云永平十四年十月將軍一葉を舞樂ハ遊覧ハ

舞樂寺村
 金福寺
 芭蕉庵
 丈山墳
 天正社
 石山
 石山
 石山
 石山



白川乃



一
寺村
圓光寺

瑞巖山圓光寺

一新寺村天王の東二町計あり禪宗南禪寺小属に初敷

東照宮

當寺東の山上小汗鎮坐し終中興之要祈尚中勸請一奉所と

折當寺へ野別足利乃學校と慶長六年 台命と當寺伏見の折月小松

其後相國寺の内ふり一寛文年中は地移と中興の祖の三要祈尚之法嗣友

耳峰社禪師小受足利學校乃第九世之印板植字十萬字朝鮮の書籍

二百部 台命ふりて清寄附あり之要祈尚 命はて都鄙乃國字

張掌しむ故小洛陽の學校と松尾當寺の 清建之 清代の寂初と

つひ終ふ 今の世小力者大物と牽動とる次小之要々々といふ事當寺より記と

慶長乱後記林道春云

足利學校の參議堂の建之我國序序りて書生受業乃旧館形り社

領二百五十石あり近代九本老人次小銀講誦に大岡の時儒法漸く

廢として相國寺の圓光寺信長老と云此社と持たり云

葉山觀音堂 圓光寺の良二町とくつ小あり林丘寺清所の清抱所と存る馬

檜垣塔 觀音堂のよりふり三つあり又坐禪石 其儀小あり由縁



葉山觀音



乃 城 垣 也

曼珠院
天満宮



狸谷石不動

一軒村上天下り長十町餘あり行路峻嶮之高二丈餘サ二丈計の
石窟あり中石像の不動尊安置長八尺計本食上人正禪の
跡所之窟乃石の窟あり高廿四尺計厨サ一尺餘本食正禪明尊と
鶴と並驗いらまはくしてつこの小遊人多し此地四隣峭壁なり谷縁
樹林蒼蒼蒼として
白鳥越

白鳥越

同所の東小あり上古の性遠道なり是より
殿山東坂村穴を村へ歩る名古路嶮といふ

花之谷

同所の小ありは所小極多し故ふ名とん殿山の衆徒一夏中初め
の極夜やうり伐生しは色の土人公役として門へ送るなり

曼珠院

同所東小あり淨宗旨 淨宗派慈覺大師より相承して天慶
年中少小於て開と移し淨門跡は足兼法親王と初と中古より後

禁裏乃側小遷

明暦二年良尚親王今の地に移し移し 竹内淨門院と
天満宮 當院後山小あり祭神菅公後陽乃菅大はは淨門主兼帶所之

天満宮

當山絶系ありて嘉観の地と
むしけ所小月林寺といふ殿山二千坊の寺あり日本紀略云康保四年二
月廿八日大長實頼公月林寺やう花と移し

拾遺抄

古今の他者幽仙律師延暦寺別當小補と拜堂の爲小登と乃
日坂奉月林寺小於て頓減と

備真公

月林寺小まくりりりふとくられてすてとて
よとて

若遣

首我ありし柱のういふ一月の林れりりり
文章生 藤原俊生

鷺 路 鬚 咫 天皇

拾玉

ひえの心

冬といふ

さひいけれ

雪の色を

巻れ

杜より

巻法



鷺杜

雙珠院の西あり和杜にて中社あり糸津鬘天王修學寺村生

月輪寺舊跡

同所の小田圃の字あり前小書しる月林寺日寺あり

小聖宮大まじり君乃月輪寺の花足ゆりふ

小聖宮大まじり君乃月輪寺の花足ゆりふ

小聖宮大まじり君乃月輪寺の花足ゆりふ

不動堂

大所の化之儀八尺計 殿嶽小屬

不動龍

本堂の東 水飲 靈泉之能取

且見之 散木 之の心その大嶽

池池 池とともくは窪所

音羽谷 雲母寺の東南あり上古

て遊乃若水の聲ありし小

古今抄之白川音羽谷

八雲抄抄之音羽谷

古今抄抄之音羽谷

権中納言敦忠山莊

林丘寺 雲母坂の下あり

後水尾院宸影 書圖同宮

岡山照山元瑤禪尼公

羅髮為必蒂尼純修浄業

林丘寺小まじりて中堂

修學寺行宮 後水尾帝

修學寺八景 隣雲夜雨

遠岫歸樵 松崎夕照

殿峯暮雪 平田落雁

村路晴嵐 修學晚鐘

中茂 通茂

雲母坂
雲母寺
林丘寺



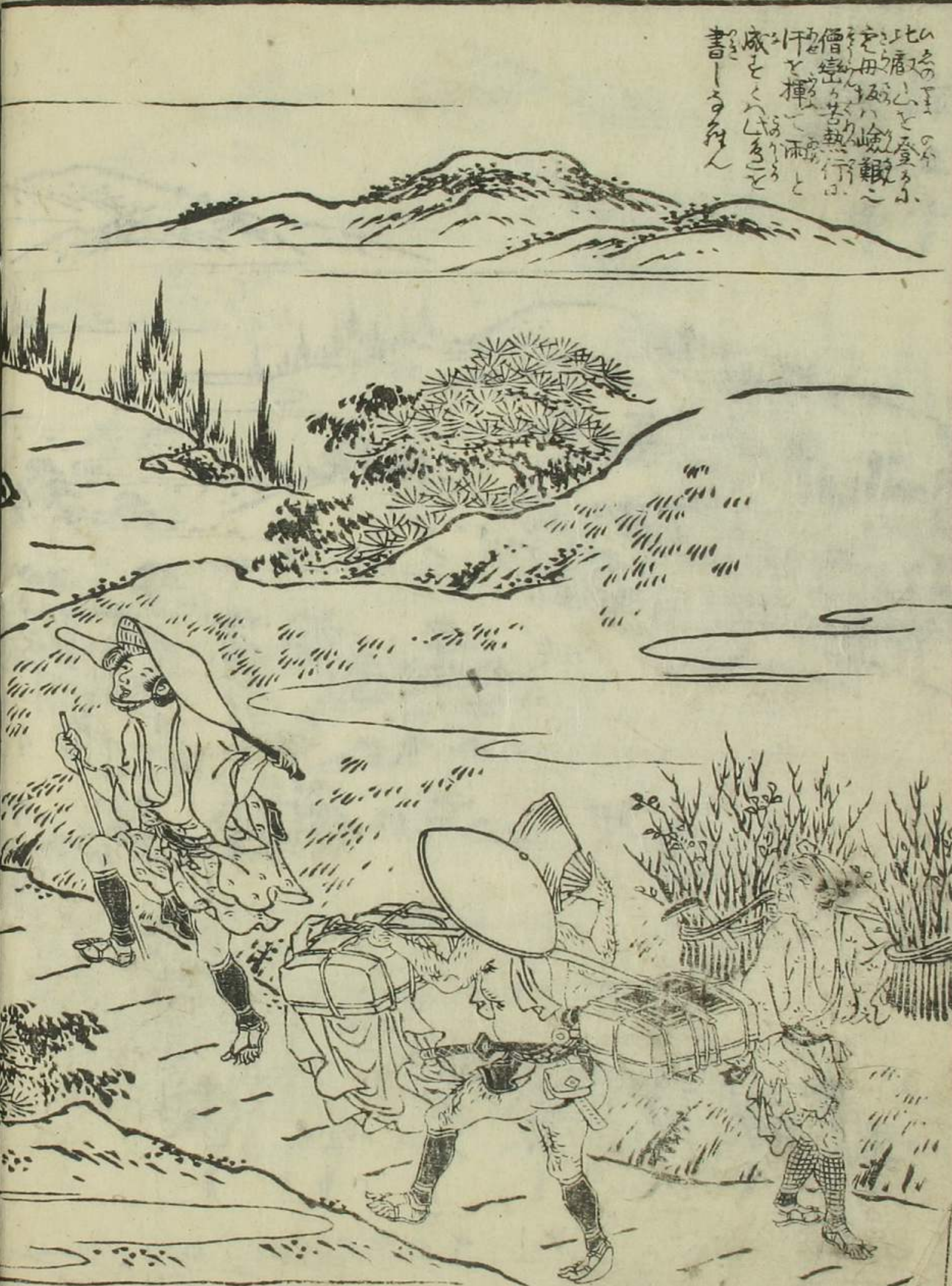
林丘寺

雲母寺

本堂

不動

いせい



此の山は...
僧堂...
成とく...
書し...
人

道入寺 修驗寺村乃有知り法華宗

禪華庵 修驗寺の東にあり禪宗の善相大黒天 畫景二幅對を安んず本儀大黒天

守禪庵 山社二町計山の北にあり禪宗開基の徹翁義亨和尚之大燈

大納言年名郷田蹟 社の赤の明神の

山端 修驗寺村の西にあり若狹街道よりして八瀬大原の喉の口にあり

理即院 山所西側小あり本寺の藏を有る僧部のは坐像四尺計一説小曰

赤宮 修驗寺村の北高野川原村小あり系神宿荷明神享保年中小干

寶幢寺 高野村小あり所小大相模あり

本尊阿弥陀佛 之像長二尺計りて相好貴奇之傳云初に別志

歸命山蓮華寺 寶幢寺の小あり天台宗山門小属に初ハ洋土宗

本尊釋迦佛 坐像八九寸計寛文中賀列乃老臣今村氏部近義

今枝宗二居士石碑 佛殿の小あり銘文木下順庵撰以り小畧に

漱玉 井屋の額に。峨山稿云相傳原右三麓蓮華寺惠心僧都所供養後

高野社 高野村東の系神早良親王 又高野の淨靈と稱す土人生土神

山城國高野淨靈云

出雲高野神社と云々あり。神祇拾遺云八所淨靈乃内崇道天皇

無言のうちに於て神樂昇る所乃古老の者出で烏帽子素袴

心忽其所振動を以てをりて村民を以て神靈の清き人小脇

道定らんと神樂を以て上らるる神樂乃勢小なりて人家の方へ

送る神樂を以て上らるる神樂乃勢小なりて人家の方へ

心忽其所振動を以てをりて村民を以て神靈の清き人小脇

無言のうちに於て神樂昇る所乃古老の者出で烏帽子素袴

出雲高野神社と云々あり。神祇拾遺云八所淨靈乃内崇道天皇

山城國高野淨靈云

山端

先帝の御遺詔に
依りて法を
後漢の社
稷に倣ひ
少くも
此の意を
守るべし
と云ふ事
出づるに
此の山
也

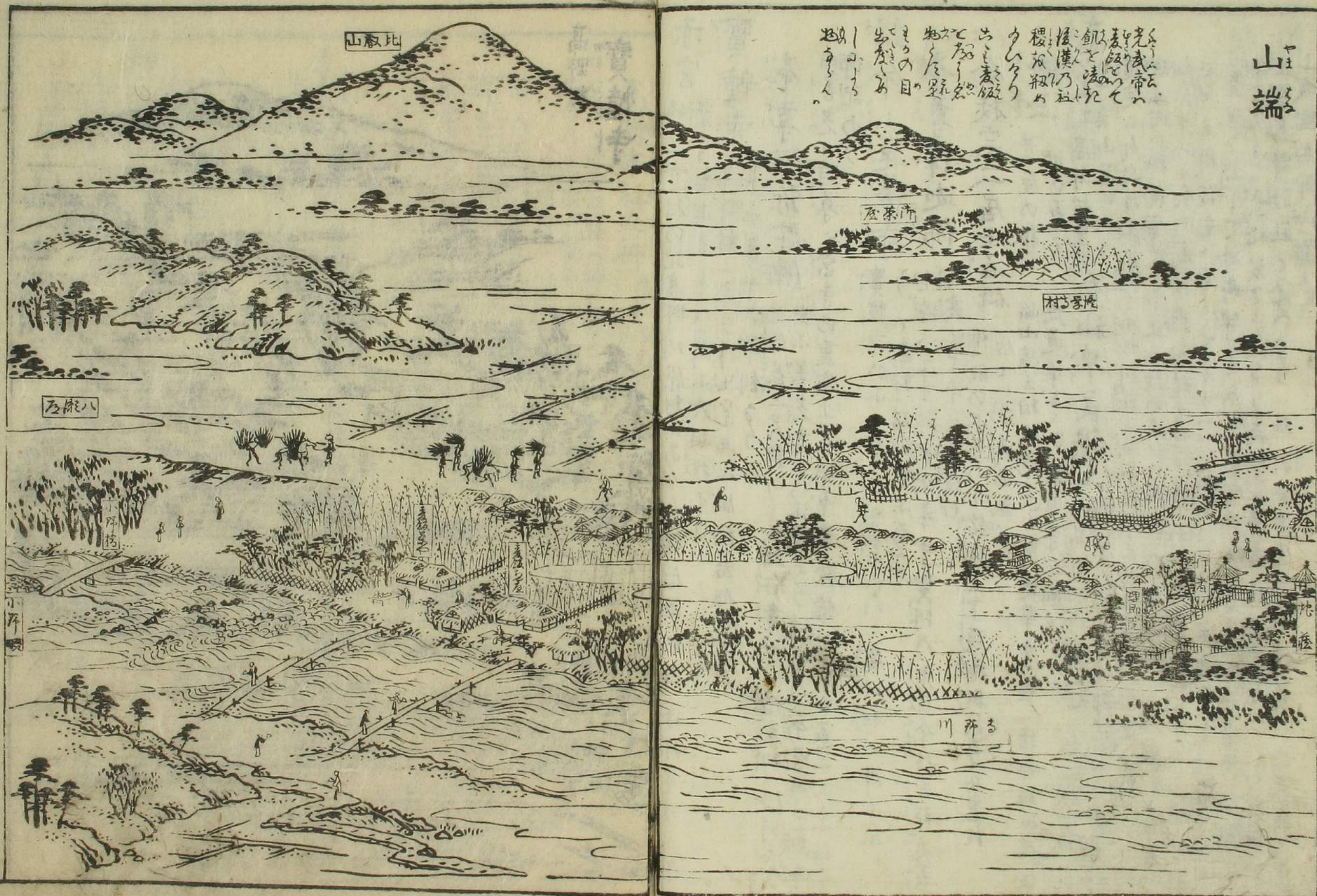
比叡山

茶所

野村

八條

河





高野村
寶幢寺

高野末社九神

諸社根元記云加茂大明神山王 貴布祢 といくの大光明
十二所推現 山神 三輪明神 ウレコセ 護摩神 已上
村西乃之大明神 伊多志神 伊多志社 伊多志郡小あり 疑くは社を今も
いづく大明神とて入。ウレコセン 穢紀之
教所前と云已上山城名勝志見へたり

小野毛人墓

小野氏系圖云毛人の故達天皇の曾孫 妹子の毛野男之墓ハ高野
北崇道天皇乃社山上 一町計小あり 人具所と踏したる
則響 高野村の地あり 土人 古れ 塚 年書 慶長十八年癸丑
十二月土人高村政重とてそのおれ 塚 堀く 石棺と得たり 内ハ金牌
一枚あり 具 斎 裏
乃 文 だ の せ

表文
長三尺計
裏文
飛鳥淨御原宮活天下天皇 御朝任太政官兼刑部大卿位大錦上

小野毛人朝臣之墓

營造歳次丁丑年十二月上旬即葬

は牌

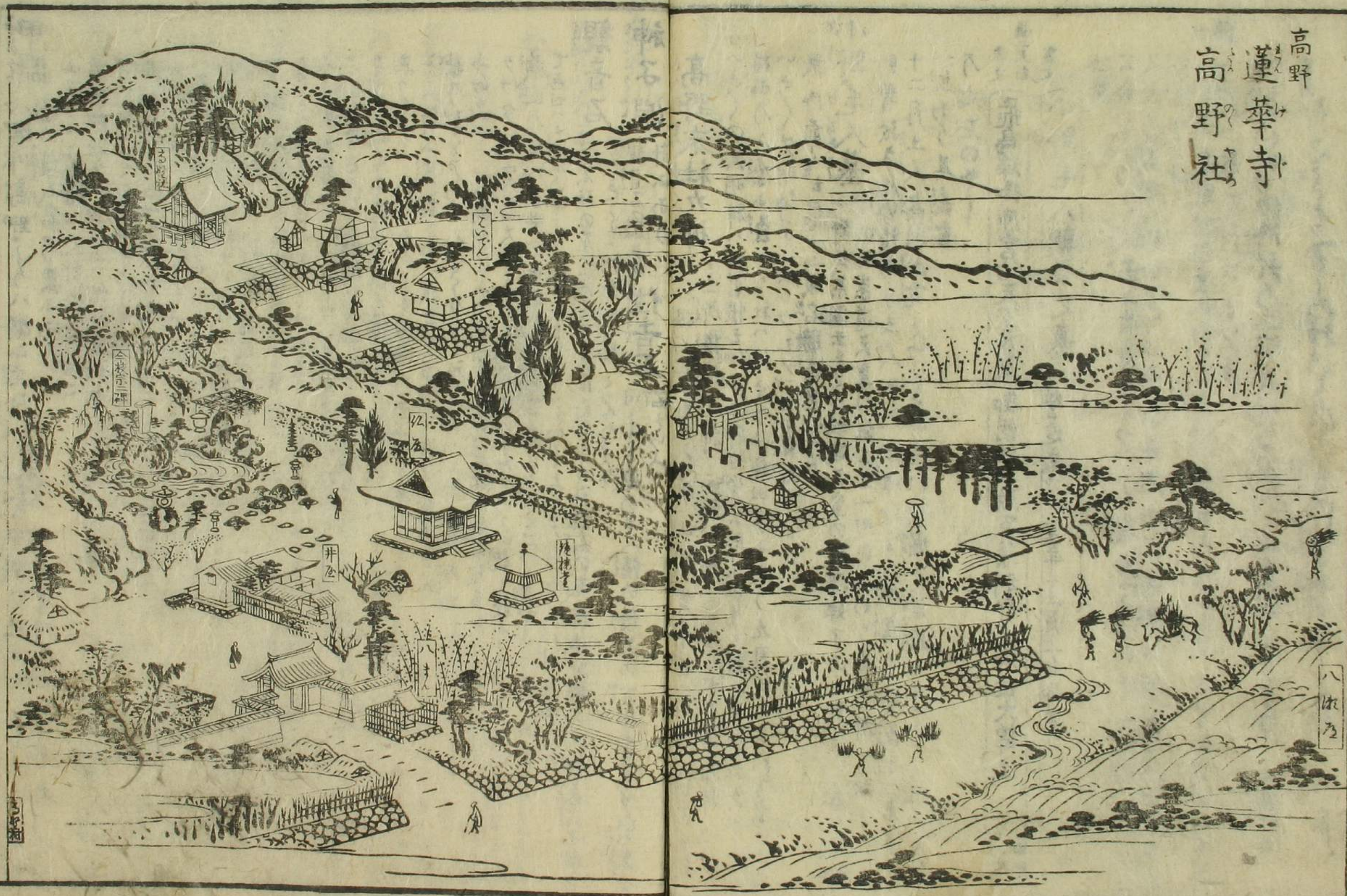
公命小野毛人朝臣之墓とていづくも 崇ふるも
又之乃石撤へむとて今ハ金牌の模高野村寶幢寺に
安置せり

御蔭山

高野村の東小あり。万水一露云みあまふむる雪の方小あり
教とて同所といなり
現存 六帖
そのおの浄教乃とれゆる茶室ハとていづくも
家集

中原師光
鳥家

高野蓮華寺
高野社



八景

甲子

平治物語云比羅山小信頼義朝ありて大原に遷ると云々

山平治物語云比羅山小信頼義朝ありて大原に遷ると云々... 義朝いづれに及び及ひ死す... 千束磯 甲子の北半町と云り

矢北川

矢北川 矢北の由縁 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

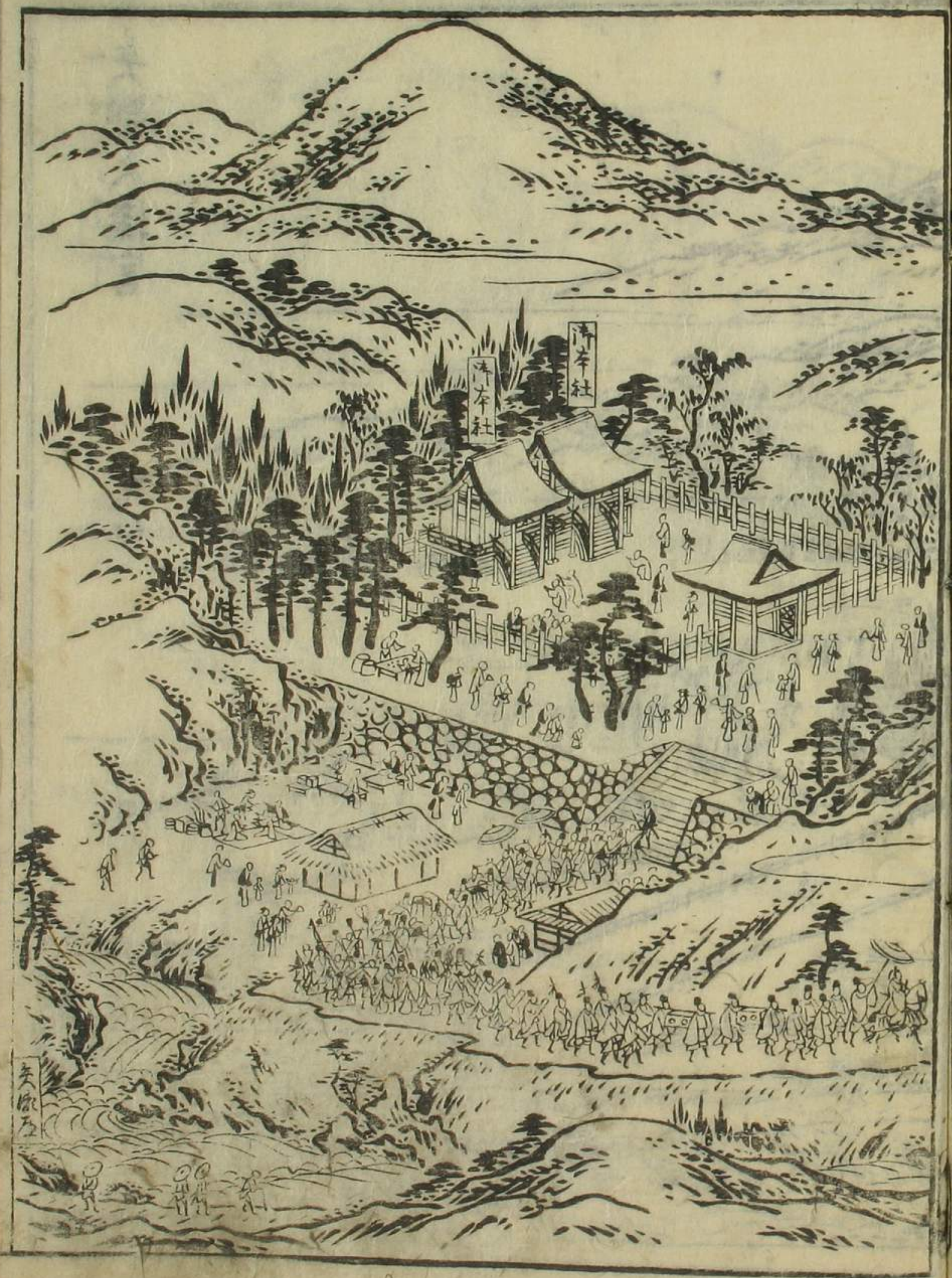
矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる

矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる... 矢北川 源大原の山二里計ありて城邊にのぼる



御蔭社御祭

如來

其つととて

くろね神の

こけふ

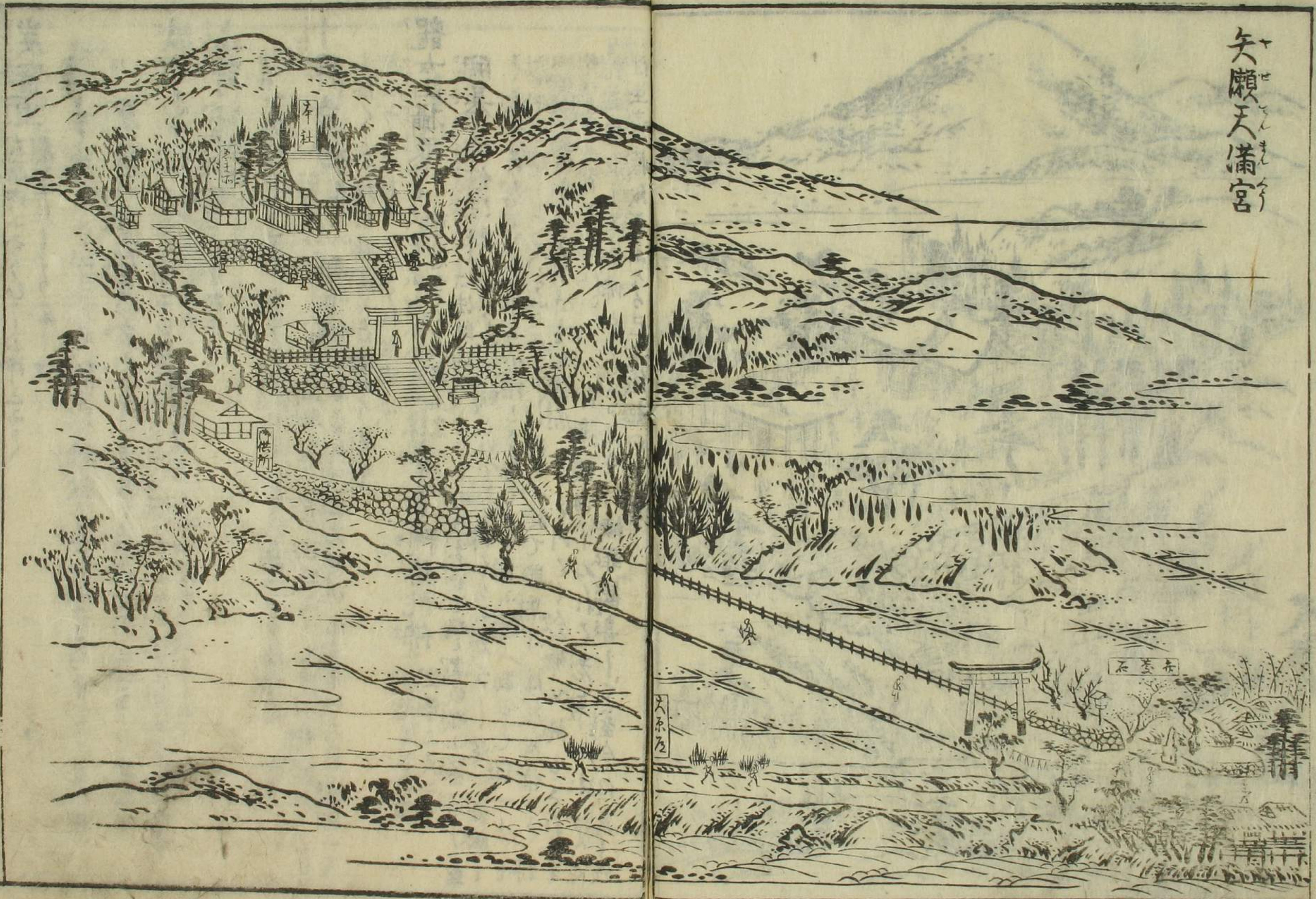
むくのねと

今も

のこら

高家

矢願天満宮



天原

石巻

炭竈里 大原郷ありむくは禪とせり
炭とせりしより名とせり

昔昔

よそありしむくは炭とせり
炭は乃煙の煙乃名ふとせりよそありしむくは炭とせり
二行門段

彼那志里社 大原乃里南の郷あり
源太夫社 北江文の郷あり
上野 大原郷の内戸村あり
上野村あり

万代

十禪寺 戸村のひくは計山脈あり
無住ありて村中ありしなり
本尊阿弥陀佛 聖徳太子の化
坐像三尺二寸

龍女山攝取院 龍道心寺あり
閑基住法師 法師僧人あり
妻とせりて居りしなり
自障懺悔あり
減罪歡喜して是念記念とせり

惟喬親王舊跡 上野村南の方田の宮あり
惟喬親王乃所ありしなり
又曰所ありしなり
今今
雪乃乃日小野小まくりて居りしなり
惟喬乃所ありしなり
今今
雪乃乃日小野小まくりて居りしなり
惟喬乃所ありしなり

小野神社 神明帳曰小野神社二座
愛宕部
敏行朝臣家 小野ありしなり
伊勢

勝手社 大原乃里南の郷あり
吉野金峯山の詣り
勝手社小法施しありしなり
明神童子ありしなり
大原乃里南の郷あり
勝手社小法施しありしなり
明神童子ありしなり

西方院 上野村の中あり。墓。寂忍法師。龍岩尼の塔寺也。ありは尼ハ

真光寺 大長頼村の小あり。教尊釋迦佛行基の死坐像又入計

貴炭翁墓 勝林院村松葉院の傍にあり。地。則。小。孫。の。子。て。寺。に。乃。翁。あり。は。所。と。具。首。長。の。墓。あり。ん。

小野氷室 大系。乃。炭。の。煙。の。お。り。あ。れ。あ。り。ん。住吉。百首。炭。は。も。氷。室。も。ゆ。り。小。野。の。火。と。水。を。隔。り。た。後。成。具。角。

炭焼やれ月乃乃清水鼻を己は 具角

小野氷室 延喜式曰山城國愛宕郡

下さるる氷室の山に建橋を人訪るる雪うらをりて 源仲正

芝徳橋 大系。橋。井。所。の。小。あり。は。橋。紀。列。高。野。乃。乃。寺。廟。橋。與。外。松。乃。乃。り。土。人。曰。毎。集。一。二。人。あり。密。る。所。あり。ん。

来迎橋 堂。橋。乃。小。あり。截。石。の。橋。して。彌。干。銅。の。擬。寶。珠。あり。卿。中。の。葬。送。

後鳥羽院陵 帝陵記曰北大原勝林院塔頭實光院小あり。大。葬。所。ハ。院。岐。岡。

獅子石 融通寺堂の右ふあり。良。忍。上。人。と。り。て。支。殊。乃。松。法。院。修。せ。ら。る。府。は。石。獅子。と。他。り。て。踊。め。り。聲。が。發。せ。し。釋。書。出。

羅漢橋 融通寺堂の右ふあり。良。忍。上。人。と。り。て。支。殊。乃。松。法。院。修。せ。ら。る。府。は。石。獅子。と。他。り。て。踊。め。り。聲。が。發。せ。し。釋。書。出。

法然上人腰掛石 日所の西ふあり。傳。之。心。は。橋。上。小。十六。羅。漢。現。し。

姫祠 勝林院村往還の西ふあり。大。津。杜。草。生。村。北。二。町。と。り。の。例。祭。二。月。五。日。

良運山莊 大系。乃。炭。の。煙。の。お。り。あ。れ。あ。り。ん。清。輔。代。玄。州。子。曰。人。々。大。系。小。遊。行。を。お。の。く。騎。馬。一。々。小。後。頼。朝。臣。

感歎 皆下野して行なぬ件の良運房乃山莊今ふ於てありと

山里の甲斐とありて多きとて初きとてはは 良運

直守鉄盤石 居宅あり。大。原。直。守。と。り。名。銀。治。せ。ら。れ。し。

大原郷口

後拾遺

ありはめ七橋の

とてやくき旅

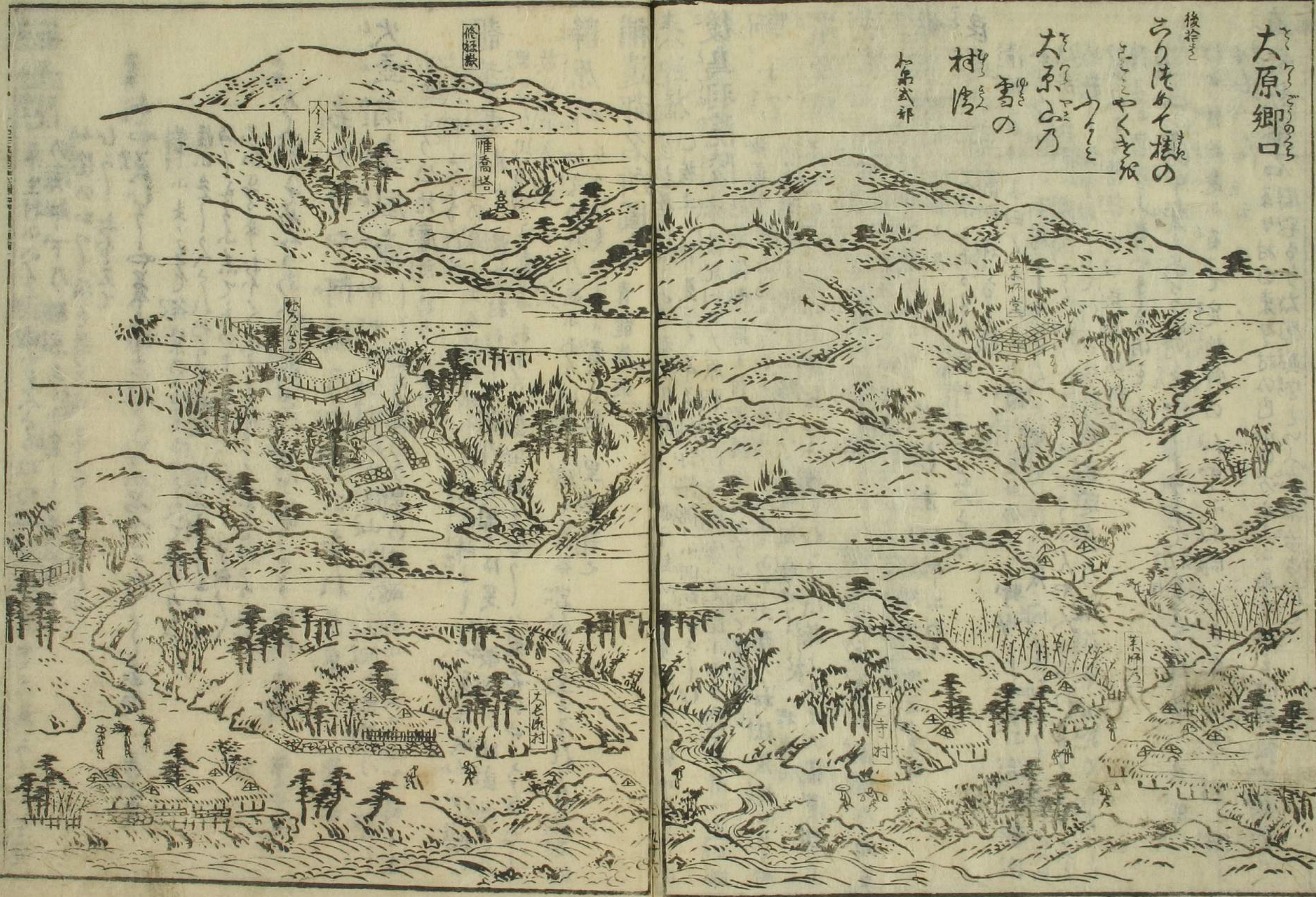
ゆき

大原ふり

雪の

村

大原武村



修徳院

今

唯高

大原

大原村

三寺村

大原

寂光院

草生村小あり前庭小見くうは地時鳥乃名せきあうして卯月
の瀬都下乃驛客あふ客して足賞と
女院のわづらぬと所之を系とせくわつれふ

家集

やまひうやまを風はれくふもくうくしあは

右京生

世中小まきまを能家のかくふかたれはゆりか
後ふ色しく久されゆりて遠れ院大系うご
向くまう小系てそのゆきりふつてもさぬく
そいふまおかくてさうりやうくおえゆりたれ

五葉

くかくてあうりあふと懸るは世をくさうれ成る利

僧正全真

あやけや阿波乃内侍のあれふ果

鷺水

火壺雨壺風壺

井出村江文社の後山小あり山向小自然乃二窟
火壺雨壺風壺一く石乃蓋あり早の時雨壺小句人て雨と禱ふ

龍華越

大系の真小出石村乃北小あり山城崎ともつて足止城辺の場
具小く撮生村ありて溪川と帯は足比敷と比良嶽と乃

静原峠

江文の社乃西小ありは坂と越て長谷岩倉小至るそれより驛馬に
出る成妻の方より當て凡一里半計と

補遺都名所圖會

青龍巻終

